

新型コロナウイルスへの対応により、内容や順序などを変更する場合があります。

専攻科目群

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル実技 I	演習	実	熱田公紀、平野孝幸 笠原康弘

科目概要

この授業は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、いろいろな音楽スタイルを学び、アンサンブルの全体像を理解した上でアレンジや演奏法について考えます。その中で各パートの役割や関連についても学びながらジャンルの拡大を目指します。  
毎日の基礎練習パターンやスコアリーディングで習った内容の音出しは毎回の授業で行います。

到達目標

いろいろなコードを確認した上で、in C譜からベースライン、メロディーライン、ハーモニーパートを構築し、楽器編成に合わせたアンサンブル譜を作成して演奏します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	授業の説明
第2回	コード①	主要3和音・コードのしくみ
第3回	コード②	ダイアトニックコード・トライアド
第4回	コード③・ビート①	7thコード・ボサノバのリズムでコードを動かす
第5回	コード④	m7thコード・ベースラインについて
第6回	コード⑤・アレンジ①	m7thコード・1コーラス分のアンサンブルを作る
第7回	テスト	アンサンブルの発表

クォーター末試験評価方法

出席率、取り組み、曲の完成度、演奏者としてのマナー等を評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	in Cの譜面を読む	簡単なピアノ譜を使い、それぞれの声部に分かれて演奏する(音名の書き込みはしない。)
第2回	コードからベースラインを作る	コード(in C)からルート音を読み取り、リズムパターンを考えベースラインを構成する。メロディー、ハーモニーパートと共に演奏する
第3回	オブリガートを作る	in Cのメロディー譜を見ながら、3度上又は下の音を演奏するコードに照らし合わせて正しい音を選ぶ
第4回	リズム伴奏パターンを作る	ハーモニーパートにリズムをつけ、伴奏パターンを作る
第5回	発表に向けて①	クォーター末発表会で演奏する曲を決め、構成、アレンジを固める
第6回	発表に向けて②	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第7回	発表に向けて③	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第8回	発表会	合同発表会

学期末試験評価方法

出席率、取り組み、曲の完成度、演奏者としてのマナー等を評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル実技Ⅱ	演習	実	熱田公紀、平野孝幸 笠原康弘

科目概要

この授業は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、いろいろな音楽スタイルを学び、アンサンブルの全体像を理解した上でアレンジや演奏法について考えます。その中で各パートの役割や関連についても学びながらジャンルの拡大を目指します。  
毎日の基礎練習パターンやスコアリーディングで習った内容の音出しは毎回の授業で行います。

到達目標

ブルースノートスケール、ペントニックスケールを使ったアドリブを含めたオリジナルアンサンブル譜を制作して、発表会で演奏します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アドリブ(ブルース)	12小節のブルース進行の上でブルースノートスケールを使い1人ずつ演奏する
第2回	アドリブ(ペントニック)	ペントニックスケール(4,7抜き音階)を使い即興でメロディーを構築する
第3回	4ビートジャズ	テーマ～アドリブ～テーマの構成を理解し4ビートのベースラインとアドリブソロを構築する
第4回	ラテン	ボサノバのリズムパターンを用いてテーマ～アドリブ～テーマの構成で1曲仕上げる
第5回	発表会に向けて	クォーター末発表会で演奏する曲を決め、構成、アレンジを固める
第6回	発表会に向けて	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第7回	発表会	クラスごとの発表

クォーター末試験評価方法

出席率、取り組み、曲の完成度、演奏者としてのマナー等を評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリジナルアレンジ制作①	I～Ⅲクォーターをふまえ、任意で選んだ楽曲をオリジナルアレンジ制作する
第2回	オリジナルアレンジ制作②	I～Ⅲクォーターをふまえ、任意で選んだ楽曲をオリジナルアレンジ制作する
第3回	オリジナルアレンジ制作③	I～Ⅲクォーターをふまえ、任意で選んだ楽曲をオリジナルアレンジ制作する
第4回	発表会に向けて①	クォーター末発表会で演奏する曲を決め、構成、アレンジを固める
第5回	発表会に向けて②	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第6回	発表会に向けて③	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第7回	発表会に向けて④	発表会での演奏曲の仕上げと練習
第8回	発表会	合同発表会

学期末試験評価方法

出席率、取り組み、曲の完成度、演奏者としてのマナー等を評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル(ジャズ・フュージョン) I II	演習	実	宮崎明生

科目概要

色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。様々なスタイルに合ったプレイスタイル、テクニックを学び、アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。履修学生の楽器、ボーカル有り無しで取り上げる楽曲も変更があります。

到達目標

年2回、学期末のアンサンブル試験に向け、パフォーマンス含めてミニライブステージをやって行きます。見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージMC、一糸乱れぬアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指しましょう！

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	ジャンルごとのアンサンブルクラスの紹介/試験についての説明。
第2回	全体オリエンテーション②	編成調整。
第3回	自己紹介 セルフ・プロデュース Captain Caribe	一年間一緒に音楽を作り上げる仲間へ、自分を知って貰い、興味を抱いて貰えるようセルフ・プロデュース兼ねて自己紹介する
第4回	Captain Caribe We'er in this love together	軽快なFusionサウンド。コードテンションのボイス確認。 明るいボーカルナンバー。
第5回	Come with me	Slow16th beatのグルーブ感、ダイナミクスビルドアップ。 ボーカルナンバー。
第6回	Woody Creek	Slow16th beatのグルーブ感、ダイナミクスビルドアップ。 展開力、ダイナミクスビルドアップの有るアドリブソロ展開。
第7回	Dr.Macumba	Fusionサウンド。細かいセクションの合わせとアドリブソロ展開力の構築。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業での取り組み方、各楽曲に対する完成度をチェックします。演奏技術の他、アドリブ演奏に不可欠なポピュラージャズ理論も含めて学びます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Lingus	難解なFusion曲への挑戦。各自のアドリブソロ展開力を養います。
第2回	Don't you worry about a thing	様々な変化するグルーブをこなす。 キメセクションの多い曲の演奏。ボーカルナンバー。
第3回	Take Five	Smooth Jazzジャンルの演奏技法を学ぶ。細かいセクションの合わせとアドリブソロ展開力の構築。
第4回	Mountain Dance	軽いタッチのセクション、コードテンションを確実に押さえる技術。
第5回	Never gonna let you go	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグルーブチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。 細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

学期末試験ライブに向けて、チーム一丸となって総合的にパフォーマンス力がアップしているかチェックします。全員とのアイコンタクトがしっかり出来ているかチェックします。(暗譜推奨です！)勢いの有るステージングを目指します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル(ジャズ・フュージョン)ⅠⅡ	演習	実	宮崎明生

科目概要

人前で演奏する事、ステージ上で最大限パフォーマンスする事を極めて行きます。色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。

到達目標

様々なジャンルやスタイルの楽曲を取り上げて行く事を通して、そのスタイルに合った演奏技法、メロディーの歌い方、コードやシチュエーションに応じたアドリブプレイの構築の仕方等学んで行きます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。今後の傾向と対策を練ります
第2回	Life is the song we sing	高速で難解なセクションプレイとコードに沿ったアドリブ演奏。
第3回	Boogie Down	展開の多い曲での場面に合ったアンサンブルの構築。ボーカルナンバー。
第4回	Just a two of us	Slow 16th beatでのセクションプレイ。アドリブソロにおける展開。ボーカルナンバー
第5回	Nothing gonna change my Love for you	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	Night flight	高速で難解なセクションプレイとコードに沿ったアドリブ演奏。
第7回	Tropical Jam	高速で難解なセクションプレイとコードに沿ったアドリブ演奏。

クォーター末試験評価方法

アカデミー生に相応しい楽曲を取り上げて行きます。難解なメロディー、複雑なコードパターン、セクションパターン等々レベルの高い演奏技術が求められます。アドリブ演奏時に必要なポピュラー・ジャズ理論も含めて学びましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Samba Song	高速で難解なセクションプレイとコードに沿ったアドリブ演奏。
第2回	Rosanna	展開の多い曲での場面に合ったアンサンブルの構築。ボーカルナンバー。
第3回	Copernicus	展開の多い曲での場面に合ったアンサンブルの構築。ボーカルナンバー。
第4回	After the love has gone	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第5回	試験に向けてディスカッション	最終試験ライブに向けて、楽曲の絞り込み。各自の役割分担等々話し合っ決めて行く。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

1年間の集大成と言える最終クォーターの試験ライブに向けて、これまでで一番のパフォーマンスが出来る様、しっかりと何度もリハーサルをします。アドリブソロに向けて各自が理論を把握し、アナライズ・コードスケールの把握をしっかり出来ているかチェックします。アイコンタクトが取れているか重視します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル(ラテン) I II	演習	実	藤本暁子

科目概要

春学期はブラジル音楽を学習していきます。(クラスによっては春学期と秋学期がの内容が入れ替わります)。それぞれの音楽の仕組みを理解した上で、クラス全員が一丸となって楽しく、かつクオリティの高いパフォーマンスを目指します。この科目では、講師の実務経験(プレイヤー、コンポーザー、アレンジャー、)の経験に基づき、実践しながら学んでいきます。

到達目標

25分のライブパフォーマンスを行います。その際、ライブの進行も含め、技術もパフォーマンスもクラスが一つになって、音楽を創り上げることができているかどうか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	クラスの紹介/試験についての説明
第2回	全体オリエンテーション②	編成調整
第3回	クラスオリエンテーション	メンバー紹介。1年間の流れの説明。ブラジル音楽の特徴について学習します。
第4回	試験にむけての選曲①	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どンドン音を出していきます。
第5回	試験にむけての選曲②	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どンドン音を出していきます。
第6回	試験にむけての選曲③	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どンドン音を出していきます。
第7回	まとめ	1クォーターで学習した曲を省みて、クラスで客観的に話し合います。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	各曲のブラッシュアップ①	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第2回	各曲のブラッシュアップ②	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第3回	各曲のブラッシュアップ③	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第4回	各曲のブラッシュアップ④	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第5回	各曲のブラッシュアップ⑤	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第6回	各曲のブラッシュアップ⑥	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第7回	通し①	MCも含め、時間配分にも気を配り、本番を想定した流れのリハーサルを行います。
第8回	通し②	MCも含め、時間配分にも気を配り、本番を想定した流れのリハーサルを行います。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル(ラテン) I II	演習	実	藤本暁子

科目概要

秋学期はサルサ音楽を学習していきます。(クラスによっては春学期と秋学期がの内容が入れ替わります)。それぞれの音楽の仕組みを理解した上で、クラス全員が一丸となって楽しく、かつクオリティの高いパフォーマンスを目指します。この科目では、講師の実務経験(プレイヤー、コンポーザー、アレンジャー、)の経験に基づき、実践しながら学んでいきます。

到達目標

30分のライブパフォーマンスを行います。その際、ライブの進行も含め、技術もパフォーマンスもクラスが一つになって、音楽を創り上げることができているかどうか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	春学期試験本番の検証	試験本番のビデオを鑑賞して、ディスカッションします。サルサ音楽の特徴について学習します。
第2回	試験にむけての選曲①	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どんどん音を出していきます。
第3回	試験にむけての選曲②	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どんどん音を出していきます。
第4回	試験にむけての選曲③	学生からの提案を交えて、試験のための選曲をし、どんどん音を出していきます。
第5回	試験にむけての選曲④	第5回目の授業内容を50字程度で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。
第6回	試験にむけての選曲⑤	第6回目の授業内容を50字程度で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。
第7回	まとめ	3クォーターで学習した曲を省みて、クラスで客観的に話し合います。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	各曲のブラッシュアップ①	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第2回	各曲のブラッシュアップ②	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第3回	各曲のブラッシュアップ③	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第4回	各曲のブラッシュアップ④	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第5回	各曲のブラッシュアップ⑤	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第6回	各曲のブラッシュアップ⑥	試験曲において、毎時間課題を見つけ、それを修正していきます。ラテンの授業なので、パフォーマンスにもこだわります。
第7回	通し①	MCも含め、時間配分にも気を配り、本番を想定した流れのりハーサルを行います。
第8回	通し②	MCも含め、時間配分にも気を配り、本番を想定した流れのりハーサルを行います。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル(Rock,Pops) I・II	演習	実	三枝俊治

科目概要

この科目は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、洋楽、J-Pop、ロック、演歌、アニソン、インスト物等ジャンルを問わず、やりたい曲を持ち寄って仕上げていくアンサンブルです。偶然集まったメンバーで一つのコンサートを作り上げて行くチームワークを学んでいきます。各人の努力を結集して最高のパフォーマンスを作り上げていきます。

到達目標

それぞれ違うバックボーンを持つメンバーの協調体制を作り、他者との協力と自身の実力を発揮する努力を合わせて一つのコンサートを作る過程を経験し、音楽業界での適応力と、幅広く社会での判断力を養うことが目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	ジャンルごとのアンサンブルの紹介
第2回	全体オリエンテーション②	編成調整
第3回	クラスオリエンテーション	クラスポリシー、年間計画の説明と、履修メンバーの楽器編成を確認してアンサンブルのビジョンを共有します。
第4回	希望曲のリストアップ	演奏を希望する曲を自由に挙げてもらい、譜面の作成計画を立てます。既存譜の演奏をします。(Let's Dance Baby等)
第5回	リハーサル開始	譜面の用意できた曲から順次リハーサルします。(参考:昨年度までの例「恋の煙/チャットモンチー」)
第6回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「We Are Never Ever Getting Back Together/Taylor Swift」)
第7回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「渚のチューブ・ライダー/NONA REEVES」)

クォーター末試験評価方法

通年科目ですので、この時点では試験はありません。出席を最重視します。チームワークなど協調性も重要な要素です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「Versace on the Floor/Bruno Mars」)
第2回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「Emergency on Planet Earth/Jamiroquai」)
第3回	ライブ全曲目の決定	9月のライブの全曲目が揃っている事が目標です。
第4回	全曲目のアレンジ決定	全曲目のアレンジを決定する事が目標です。
第5回	ライブ全体計画	各曲の時間を計り、計画書の準備をします。夏休み中の各自の課題を確認します。
第6回	夏休み明けリハーサル開始	全曲目を曲順にて演奏し、コンサートの流れを確認します。アレンジや演奏の細部をチェックします。
第7回	止め通しリハーサル	全曲目を曲順に演奏します。MCの注意点などを徹底します。細部をレベルアップし、必要があれば修正します。
第8回	ゲネプロリハーサル	MCも含めてコンサート通りのリハーサルをします。チームワーク、結束力を高め本番に臨みます。

学期末試験評価方法

BUCAにてライブ演奏を行います。当日のリハーサル運営と本番ライブの流れを評価しますが、通常授業時の出席とチームワークを最重要視して評価します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点を算入します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル(Rock,Pops) I・II	演習	実	三枝俊治

科目概要

この科目は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、よりプロフェッショナルなコンサートに近いクオリティを目指して準備をします。演奏内容だけではなく、ライブコンセプト、衣装等も考えます。春学期を振り返り、各人の演奏能力に合わせて一歩前進のアドバイスも行なっていきます。

到達目標

各人が最高の達成感を得られるよう協調し、自ら楽しみ、オーディエンスを楽しませるコンサートを創り上げていく中で、プロフェッショナルの音楽家としての意識を確立していく事を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	秋学期スタートオリエンテーション	春学期のレビュー及び秋学期の計画を話し合います。秋学期の曲を持ち寄って討議します。揃うまでは既存譜を演奏します。
第2回	希望曲のリストアップ	秋学期に演奏を希望する曲目をリストアップします。譜面の作成計画を立てます。揃うまでは既存譜を演奏します。
第3回	リハーサル開始	譜面の用意できた曲から順次リハーサルをします。(参考:昨年度までの例「アイネクライネ/米津玄師」)
第4回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「江戸ポルカ/一青窈」)
第5回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「薄ら氷心中/林原めぐみ」)
第6回	リハーサル	(参考:昨年度までの例「暗夜の心中立て/石川さゆり」)
第7回	演奏曲目を揃える	演奏する曲目をある程度そろえて2月のライブに向けての準備をします。

クォーター末試験評価方法

通年科目ですので、この時点では試験はありません。出席を最重視します。チームワークなど協調性を春学期より重要視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	曲目の確認	演奏曲目を確認し、曲順なども検討を始めます。(参考:昨年度までの例「君の知らない物語/supercell」)
第2回	ライブ全曲目の決定	演奏曲目を決定し、曲順も決めます。全曲目のアレンジをほぼ決定し、時間を計り、セトリスト提出の準備をします。
第3回	ライブ全体計画	全曲のアレンジ、曲順等を決定します。MCの入る場所なども決定し、セトリストを提出できるようにする事が目標です。
第4回	細部のチェック	この時期は演奏の細部にわたってチェックし、よりプロフェッショナルなレベルに近づけるようリハーサルします。
第5回	細部のレベルアップ	リズム、ダイナミクス等細部にわたってレベルアップを図ります。アレンジの修正等も必要があれば行います。
第6回	グルーヴのレベルアップ	アンサンブルの細部より大枠のグルーヴを意識したりリハーサルにシフトします。
第7回	止め通しリハーサル	曲順に全曲を演奏し、コンサートの流れをつかみます。MCの注意事項等を徹底します。
第8回	ゲネプロリハーサル	MCも含めてコンサート通りのリハーサルをします。自ら楽しみ、オーディエンスを楽しませる最終準備です。

学期末試験評価方法

BUCAにてライブ演奏を行います。当日のリハーサル運営と本番ライブが時間厳守で行なわれることが重要ですが、通常授業時の出席とチームワークの方を最重要視して評価します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点を算入します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル(African-American music) I・II	演習	実	平野 孝幸

科目概要

この科目は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、現在のポップスシーンにおいてU.SとU.KのヒットチャートにおけるR&Bの割合は言うまでもなくJ-Popにおいても多くのアーティストがR&Bスタイルの楽曲を発表しヒットさせています。この授業では、いち早く新譜を取り上げアナリーゼして実際のアンサンブルで演奏する事を目指しています。ほとんど誰も未だやっていない楽曲にチャレンジしアンサンブルを実践します。パソコン(DAW)との同期演奏も積極的に行います。また過去の有名曲も必要であれば今のサウンドにアレンジして取り上げていくつもりです。

到達目標

R&Bを主軸にしたリズムグループの習得。譜面と参考音源(YouTubeのライブ演奏)による楽曲アナリーゼ。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	ジャンルごとのアンサンブルクラスの紹介/試験についての説明。アンサンブル編成を考慮した楽曲を決める。チャレンジしたい楽曲を決める(2~3曲)。教室の機材の使用法の確認。
第2回	全体オリエンテーション②	授業内容:編成調整。アンサンブル編成を考慮した楽曲を決める。チャレンジしたい楽曲を決める(2~3曲)。教室の機材の使用法の確認。
第3回	1曲めリハーサル	譜面作成と手始めに近年リリースされ、シンプルな楽曲から練習する。昨年度(Fall In Line - Christina Aguilera)
第4回	1曲めリハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第5回	2曲めリハーサル	譜面作成と手始めに近年リリースされ、シンプルな楽曲から練習する。昨年度(Mr Saxobeat-Alexandra Stan)
第6回	2曲めリハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第7回	3曲めリハーサル	アンサンブルメンバーの技量を考慮し、比較的難易度の高い楽曲にチャレンジする。昨年度(No Tears Left To Cry - Aliana Grande)

クォーター末試験評価方法

出席60% 平常点40% アンサンブル演奏/歌唱の習熟度に加え、楽曲の採譜と譜面作成、編曲の提供/提案、DAWのプログラミングなどには加点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3曲めリハーサル/1クォーターのまとめ	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第2回	4曲めリハーサル	アンサンブルメンバーの技量を考慮し、比較的難易度の高い楽曲にチャレンジする。コンピュータと同期する曲などにもチャレンジしたい。昨年度(Stronger Than Me-Amy Winehouse)
第3回	4曲めリハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第4回	5曲めリハーサル	アンサンブルメンバーの技量を考慮し、比較的難易度の高い楽曲にチャレンジする。コンピュータと同期する曲などにもチャレンジしたい。昨年度(Chained To The Rhythm-Katy Perry)
第5回	5曲めリハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第6回	5曲通して演奏	Stronger Than Me-Amy Winehouse練習して来た楽曲をバランス良く配置する。またイメージや曲調が重複してしまった場合はディスカッションして選曲する。
第7回	5曲通して演奏	通し演奏。MCを入れるタイミングなどをディスカッションし公開試験で与えられた演奏時間を効果的にステージング出来るようにする。
第8回	公開試験に向けてステージングの確認	通し演奏と細部の確認。

学期末試験評価方法

出席60% 平常点40% アンサンブル演奏/歌唱の習熟度に加え、楽曲の採譜と譜面作成、編曲の提供/提案、DAWのプログラミングなどには加点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル(African-American music) I・II	演習	実	平野 孝幸

科目概要

この科目は講師の実務経験(演奏、作編曲)に基づき、基本的に春学期と同じ内容ですが、ステージングを考慮しYouTubeなどのライブパフォーマンスを参考に振り付けやコーラスを積極的に実践します。アンサンブルの組み立て方に慣れてきたら是非オリジナル曲に挑戦してみましょう。自分の作品をR&Bスタイルでまとめるチャンスです。

到達目標

より効果的なライブパフォーマンスを探求しセルフプロデュースを実践する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲うちあわせ(1)	春期公開試験のビデオ鑑賞と反省。チャレンジしたい楽曲を決める(2~3曲)。
第2回	楽曲うちあわせ(2)	今までにトライ出来なかった曲やチャレンジしたい楽曲を決める(2~3曲)。
第3回	1曲めりハーサル	最近のヒットチャートを意識し、誰も演った事がない曲にチャレンジする。昨年度(I Can't Help It- Michael Jackson)
第4回	1曲めりハーサル	YouTubeのライブ演奏などから演奏方法/ライブパフォーマンスを研究し、自分達のアンサンブル編成で実践する。
第5回	2曲めりハーサル	最近のヒットチャートを意識し、誰も演った事がない曲にチャレンジする。昨年度(Honey Dipped-Dave Koz)
第6回	2曲めりハーサル	YouTubeのライブ演奏などから演奏方法/ライブパフォーマンスを研究し、自分達のアンサンブル編成で実践する。
第7回	3曲めりハーサル	最近のヒットチャートを意識し、誰も演った事がない曲にチャレンジする。昨年度(Human Nature - Rhythm Jets)

クォーター末試験評価方法

出席60% 平常点40% アンサンブル演奏/歌唱の習熟度に加え、楽曲の採譜と譜面作成、編曲の提供/提案、DAWのプログラミングなどには加点します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3曲めりハーサル	YouTubeのライブ演奏などから演奏方法/ライブパフォーマンスを研究し、自分達のアンサンブル編成で実践する。
第2回	4曲めりハーサル	オリジナル曲があれば、それをメインにアレンジし演奏する。または更に難易度の高い曲にチャレンジする。昨年度(Rhythm Is Gonna Get You-Rhythm Jets)
第3回	4曲めりハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第4回	5曲めりハーサル	オリジナル曲があれば、それをメインにアレンジし演奏する。または更に難易度の高い曲にチャレンジする。昨年度(I'll Never Love Again- Lady GaGa)
第5回	5曲めりハーサル	歌手/メインのインストに合わせたキーの設定、編成における可能な限りのアレンジを施して一曲をまとめる。
第6回	通しリハーサル	練習して来た楽曲をバランス良く配置する。またイメージや曲調が重複してしまった場合はディスカッションして選曲する。振り付けの研究も行う。
第7回	通しリハーサル	通し演奏。MCを入れるタイミングなどをディスカッションし公開試験で与えられた演奏時間を効果的にステージング出来るようにする。
第8回	公開試験に向けてステージングの確認	通し演奏と細部の確認。

学期末試験評価方法

出席60% 平常点40% アンサンブル演奏/歌唱の習熟度に加え、楽曲の採譜と譜面作成、編曲の提供/提案、DAWのプログラミングなどには加点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル I・II (現代音楽)	演習	実	佐藤昌弘

科目概要

この科目では、講師の実務経験(芸術音楽における作曲活動、日本現代音楽協会における現代音楽の普及活動および現代音楽演奏コンクール“競楽”の実行委員長の任務など)に基づき、20世紀・21世紀の芸術音楽作品を対象として、合奏を演習します。

到達目標

現代音楽の持つさまざまな新しい音楽語法に触れ、それらの演奏表現についての実践研究を重ね、最終的に成果発表を行います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	ジャンルごとのアンサンブルクラスの紹介／試験についての説明
第2回	全体オリエンテーション②	編成調整
第3回	合奏演習①	1クォーターの演習曲を決定します。 参考(これまでの例より): 吉松隆／デジタルバード組曲
第4回	合奏演習②	精確に譜読みしましょう。
第5回	合奏演習③	楽曲の構造を理解して合奏しましょう。
第6回	合奏演習④	各パートの役割を明確に認識して合奏しましょう。
第7回	合奏演習⑤	全体の響きのバランスをとることを主眼に合奏しましょう。

クォーター末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	選曲	2クォーターの演習曲を決定します。 参考(これまでの例より): ライヒ／ナゴヤ・マリンバ
第2回	合奏演習①	精確に譜読みをしましょう。
第3回	合奏演習②	楽曲の構造を理解して合奏しましょう。
第4回	合奏演習③	各パートの役割を明確に認識して合奏しましょう。
第5回	合奏演習④	全体の響きのバランスをとることを主眼に合奏しましょう。
第6回	合奏演習⑤	適切な奏法と表現に留意して合奏しましょう。
第7回	合奏演習⑥	訴求力の高い合奏表現を目指しましょう。
第8回	合奏演習⑦	本番を意識して合奏を仕上げましょう。

学期末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル I・II (現代音楽)	演習	実	佐藤昌弘

科目概要

この科目では、講師の実務経験(芸術音楽における作曲活動、日本現代音楽協会における現代音楽の普及活動および現代音楽演奏コンクール“競楽”の実行委員長の仕事など)に基づき、20世紀・21世紀の芸術音楽作品を対象として、合奏を演習します。

到達目標

現代音楽の持つさまざまな新しい音楽語法に触れ、それらの演奏表現についての実践研究を重ね、最終的に成果発表を行います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	選曲	3クォーターの演習曲を決定します。 参考(これまでの例より):西村朗/ヘイロウス(光輪)
第2回	合奏演習①	精確に譜読みしましょう。
第3回	合奏演習②	楽曲の構造を理解して合奏しましょう。
第4回	合奏演習③	各パートの役割を明確に認識して合奏しましょう。
第5回	合奏演習④	全体の響きのバランスをとることを主眼に合奏しましょう。
第6回	合奏演習⑤	適切な奏法と表現に留意して合奏しましょう。
第7回	合奏演習⑥	訴求力の高い合奏表現を目指しましょう。

クォーター末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	選曲	4クォーターの演習曲を決定します。 参考(これまでの例より):佐藤昌弘/Nocturne
第2回	合奏演習①	精確に譜読みしましょう。
第3回	合奏演習②	楽曲の構造を理解して合奏しましょう。
第4回	合奏演習③	各パートの役割を明確に認識して合奏しましょう。
第5回	合奏演習④	全体の響きのバランスをとることを主眼に合奏しましょう。
第6回	合奏演習⑤	適切な奏法と表現に留意して合奏しましょう。
第7回	合奏演習⑥	訴求力の高い合奏表現を目指しましょう。
第8回	合奏演習⑦	本番を意識して合奏を仕上げましょう。

学期末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	アンサンブル(バロック)ⅠⅡ	演習	実	大木 和音

科目概要

バロック音楽をアンサンブルで体験し、この時代の音楽の理解を深めていく授業です。  
 ※曲目は楽器編成によって変わります。  
 尚、講師はanaレコーズに所属、バロックから近代スペイン音楽まで幅広いレパートリーを持ち、計5枚のアルバムをリリース。またDSD11.2MHzによる公開ライブ・レコーディング(@スパイラルホール)にも出演し、OTOTOYサイト配信中です。

到達目標

バロック音楽の様式感を体得し、学期末公開試験(@バリオホール)では、ホールの響きを味わいながら、聴衆に自分たちの音楽を伝えることを目標とします。鍵盤楽器専攻学生は、通奏低音も実践してもらいます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全体オリエンテーション①	ジャンルごとのアンサンブルクラスの紹介/試験についての説明
第2回	全体オリエンテーション②	構成調整
第3回	顔合わせ	授業についての説明をします。チェンバロについて、楽器を囲んでもらい、説明します。
第4回	試験曲の配布(デュオ)	チェンバロと旋律楽器のための小品数曲の中から、やりたい曲を選んでもらいます。移調の必要な楽器は、移調作業開始。
第5回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハをはじめとするデュオ小品。パートナーを決め、いよいよ合わせていきます。
第6回	試験曲の練習と合わせ	前週の続き、試験に向けて最終確認をします。
第7回	クォーター末試験	順番に演奏していき、聴き合います。ミニ・コンサートだと思って演奏してください。

クォーター末試験評価方法

相手と呼吸を合わせて演奏できているか、音楽が一つの流れで演奏できているか…などに着目し、出席及び平常点も考慮しながら、採点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	通奏低音について	通奏低音付きのアンサンブルに取り組むため、バス声部に記された数字の意味を解説していきます。
第2回	試験曲決め	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ トリオをやります。どの楽章・パートを担当するかを話し合い決定。移調作業、練習開始。
第3回	試験曲の練習と合わせ	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ ゆっくり合わせていきます。
第4回	試験曲の練習と合わせ	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ スコアも見ながら音の確認、曲の構造も考えていきます。
第5回	試験曲の練習と合わせ	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ 通奏低音も仕上げに向けていき、テーマの入りなども確認します。
第6回	試験曲の練習と合わせ	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ 自分のパートだけでなく、他のパートにも耳を傾けます。
第7回	試験曲の練習と合わせ	G.F.ヘンデル/トリオ・ソナタ 曲の全体像をつかめるよう、集中して演奏に取り組めます。
第8回	公開試験に向けて	公開試験を想定した通り演奏を順に発表し合います。本番だと思って演奏してください。

学期末試験評価方法

自分のパートをしっかり演奏できているか、他のパートも聴きながら流れに乗って演奏できているか、通奏低音は理解できているか…などに着目し、出席及び平常点も考慮しながら、採点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	アンサンブル(バロック)ⅠⅡ	演習	実	大木 和音

科目概要

バロック音楽をアンサンブルで体験し、理解を深めていく授業です。春学期よりも、音楽内容が深められることを目指します。※曲目は楽器編成によって変わります。  
尚、講師はanaレコーズに所属、バロックから近代スペイン音楽まで幅広いレパートリーを持ち、計5枚のアルバムをリリース。DSD11.2MHzによる公開ライブ・レコーディング(@スパイラルホール)にも出演し、OTOTOYサイト配信中です。

到達目標

スコアを読んで曲の構成をつかみ、より立体的な音楽ができることを目指します。バロック時代の「装飾音」も、正しく音楽的に奏でられることを目指します。通奏低音では、曲想に合わせてアルペジオが入れられることも目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験曲決め	やってみたい曲(バロック)の提案も、大歓迎です。どの曲・楽章を演奏するかを話し合い、決定します。
第2回	試験曲の練習と合わせ	J.J.クヴァンツ/トリオ・ソナタ 音の確認をしながら、ゆっくりと合わせていきます。
第3回	試験曲の練習と合わせ	J.J.クヴァンツ/トリオ・ソナタ 通奏低音も少しずつ考えていきます。スコアを確認します。
第4回	試験曲の練習と合わせ	J.J.クヴァンツ/トリオ・ソナタ テーマ、調の移り変わりなどを聴きながら、合わせていきます。
第5回	試験曲の練習と合わせ	J.J.クヴァンツ/トリオ・ソナタ 通奏低音も仕上げに向け、旋律楽器の人も和音を聴いて演奏。
第6回	試験曲の練習と合わせ	J.J.クヴァンツ/トリオ・ソナタ 試験目前、確認しながら仕上げに入ります。
第7回	クォーター末試験	順に演奏し、聴き合います。ミニ・コンサートだと思って演奏してください。

クォーター末試験評価方法

自分のパートがしっかり演奏できているか、自分以外のパートも聴きながら流れに乗って演奏しているか…などに着目し、出席及び平常点も考慮しながら採点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験曲決め	どの曲、楽章を演奏するか話し合い、決定。楽器によっては移調を開始、それぞれ練習に入ります。
第2回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ ゆっくりと合わせてみます。
第3回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ 通奏低音も少しずつ考えていきます。スコアを確認します。
第4回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ 通奏低音も少しずつ考えていきます。スコアを確認します。
第5回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ テーマ、調の移り変わりなども感じながら演奏していきます。
第6回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ 通奏低音も仕上げに向かいます。上声部も和音を聴いて演奏。
第7回	試験曲の練習と合わせ	J.S.バッハ/トリオ・ソナタ 各声部が呼応するように演奏し、仕上げます。
第8回	公開試験に向けて	公開試験を想定した通り演奏、聴き合います。本番だと思って演奏してください。

学期末試験評価方法

他のパートを聴きながら、自分のパートもしっかり演奏できているか、音楽の流れに乗って演奏できているか、装飾音も音楽的に奏でられているか…などに着目し、出席及び平常点も考慮しながら採点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	アンサンブルディレクションテクニック	実習	実	熱田公紀、藤本暁子

科目概要

この科目は集中授業です。  
講師の実務経験(演奏、作編曲、バンドディレクション)に基づき、バンドアンサンブルのまとめ方を学び、実際にディレクターとして実践を行います。

到達目標

曲の進行、それに基づく構成やダイナミクス、ソロの割り当てを考え、1曲、商品価値のあるレベルまで仕上げられることを目標とします。

授業計画

前半	テーマ	授業内容
第1回	講師のディレクションによるトレーニング	まずは演奏者として、曲の内容について学びます。
第2回	講師による様々な進行パターンの提示	ジャズ系バンドアンサンブルの中では、進行をその都度、変えることができます。
第3回	演奏面での指導①	それぞれのジャンルにおける演奏法の違いを学びます。
第4回	演奏面での指導②	各パートのアンサンブルにおける役割を学びます。
第5回	演奏面での指導③	曲全体の構成、主にダイナミクスをどうつけるかを学びます。
第6回	トラブル対応①	本番にむけて、どのような演奏上のトラブルが想定されるか、またその解決法を学びます。
第7回	トラブル対応②	本番にむけて、どのような機材面のトラブルが想定されるか、またその解決法を学びます。
クォーター末試験評価方法		
後半	テーマ	授業内容
第1回	ディレクションの実践①	選曲し、編成を決めます。
第2回	ディレクションの実践②	曲全体の構成、ソロの割り当てを行います。
第3回	ディレクションの実践③	演出を考えます。
第4回	リハーサル①	予定通りの進行で曲を通します。
第5回	リハーサル②	変更したほうが良い点が無いか、検証し、あれば修正/リハーサルを行います。
第6回	通しリハーサル	トラブル対応を含め、通しリハーサルを行います。
第7回	発表	授業内でそれぞれのディレクションのもと、発表を行います。
第8回	検証(まとめ)	それぞれのディレクションの良かった点、悪かった点をディスカッションします。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。  
出席率:50%  
平常点:25%  
試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	イベントディレクションテクニック	実習	実	坂本浩志

科目概要

この科目は集中授業です。  
講師の実務経験(プロデューサー、ステージマネージャー)に基づき、コンサートの運営方法を学び、実際にステージマネージャーとして実践を行います。

到達目標

コンサートを進行する上での「裏方」の役割を体験し、どのような部署が、どのように動いているかを理解します。また、スムーズに進行する上で大切なことを理解します。

授業計画

前半	テーマ	授業内容
第1回	コンサートの概要について	5W1Hを明確にリストアップします。
第2回	出演者の詳細	メンバー、編成、使用楽器、曲ごとの時間を調べます。
第3回	本番の進行スケジュール	1団体当たりの時間を算出し、本番の進行スケジュールを立てます。
第4回	出演者の動きを考える①	出演者の導線、セッティングの取り回しを考えます。
第5回	リハーサルの進行スケジュール	ストレスなく、スムーズなリハーサル進行を考えます。
第6回	出演者の動きを考える②	リハーサル、本番通しての、出演者、スタッフ、楽器の動きをシミュレーションします。
第7回	進行スケジュールの組み換え	これまでの情報をもとに、進行スケジュールを見直します。

クォーター末試験評価方法

後半	テーマ	授業内容
第1回	スタッフ打ち合わせ	現場進行をスタッフと打ち合わせます。
第2回	インカムの使い方	舞台袖のインカムの使い方のレクチャーを受けます。
第3回	セッティング確認	リハーサルが始められるように、舞台上を確認します。
第4回	リハーサル	出演者を呼び、セッティング後、リハーサルを開始します。時間の管理も行います。
第5回	サウンドチェック(モニターチェック)	実際に演奏してもらいながら、モニターの各楽器の音量の調整を行います。
第6回	進行確認(ステージ内)	団体内の進行の確認をしながら、限られた時間内でリハーサルを行います。
第7回	本番前確認	リハーサル後、各部署の準備ができているか確認します。
第8回	本番～撤収	本番では出演者のスタンバイ/セッティングの指示、撤収では原状復帰を確認します。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。  
出席率:50%  
平常点:25%  
試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	レコーディングディレクションテクニック	実習	実	前田基彦

科目概要

この科目は集中授業です。レコーディングスタジオにおいて必要な知識を習得する授業です。ミュージシャン、プレーヤーとして無くてはならないレコーディングスキルを実践を通して学んでいきます。あわせて、レコーディングの機材の仕組み、また、音楽業界でのレコーディングの位置づけについても学びます。尚、講師はレコーディングエンジニアとしてTOSHI(XJAPAN)、映画Biohazardなどのエンジニアリング実務経験を持ちます。

到達目標

レコーディングスタジオにおいて必要な知識習得、キューボックス使用法の理解、アンサンブル力習得、コミュニケーションスキル上達。

授業計画

前半	テーマ	授業内容
第1回	レコーディング事情	音楽業界内での、レコーディングの意味について学びます。
第2回	レコーディング概論	録音の仕組みについて学びます。
第3回	DAW	「Digital Audio Workstation」について学びます。
第4回	具体的な機材の使い方①	キューボックスの使い方を学びます。
第5回	具体的な機材の使い方②	ヘッドフォン、イヤフォンの使い方を学びます。
第6回	マイキングについて	マイクの立て方、距離によつての違いを学びます。
第7回	レコーディング実践①	弦楽器のレコーディング(ダビング)を行います。

クォーター末試験評価方法

後半	テーマ	授業内容
第1回	レコーディング実践②	管楽器のレコーディング(ダビング)を行います。
第2回	レコーディング実践③	アコースティックピアノのレコーディング(ダビング)を行います。
第3回	レコーディング実践④	①～③以外の楽器のレコーディング(ダビング)を行います。
第4回	ディレクション実践	レコーディング実践と並行して、COコースまたは自作曲を持ち込んだ学生は、どういう風に演奏してほしいか、OK/NGの指示をします。
第5回	ミックス実践①	音量バランス、エフェクトの確認、調整の仕方を学びます。
第6回	ミックス実践②	DTM音源をいかに生楽器と混ぜるかの実践を行います。
第7回	ミックス実践③	ミックスの最終確認を行い、データを持ち帰ります。
第8回	まとめ	レコーディング/ディレクションを体験してみたの感想を議論します。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。  
出席率:50%  
平常点:50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	総合表現制作基礎	演習	実	坂本浩志

科目概要

講師の実務経験(プロデューサー、ステージマネージャー)に基づき、コンサートの企画、運営、出演を行うことで、自己表現のアウトプットの方法を学びます。

到達目標

一つのコンサートを作り上げるには何が必要か、失敗の経験も含めて学んでいく。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	テーマ打ち合わせ	選曲やフライヤーのイメージになる、コンサート全体のテーマの打ち合わせを行う。
第2回	係分け(舞台監督、演出、フロア、広報)	全員が何らかの運営の係を担当する。
第3回	内容打ち合わせ①	ステージ全体の流れを考える。
第4回	内容打ち合わせ②	演出の基本プランを考える。
第5回	演目決定のための音だし会①	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第6回	演目決定のための音だし会②	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第7回	演目決定のための音だし会③	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	演目決定のための音だし会	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第2回	演目決定のための音だし会	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第3回	演目決定のための音だし会	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第4回	演目決定のための音だし会	候補曲を持ち寄り、音を出して選曲の検討材料にする。
第5回	演目決定	本番で演奏する曲を決定する。
第6回	広報計画決め	広報手段、範囲を打ち合わせる。
第7回	広報計画決め	具体的な広報作業の手分けをする。
第8回	フライヤー完成	配布の段取りを打ち合わせる。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	総合表現制作基礎	演習	実	坂本浩志

科目概要

講師の実務経験(プロデューサー、ステージマネージャー)に基づき、コンサートの企画、運営、出演を行うことで、自己表現のアウトプットの方法を学びます。

到達目標

一つのコンサートを作り上げるには何が必要か、失敗の経験も含めて学んでいく。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	集客確認	無料のコンサートだが、お客さんがいないと成り立たないので、目標と、現在の来場見込み数を確認する。
第2回	演出プラン打ち合わせ	MCを含めた演出プランを決定する。
第3回	内容打ち合わせ	最終的な進行の打ち合わせ。
第4回	PA、ステージ打ち合わせ	音響、照明スタッフとの打ち合わせ。
第5回	リハーサル①	各曲のブラッシュアップ。
第6回	リハーサル②	各曲のブラッシュアップ。
第7回	リハーサル③	各曲のブラッシュアップ。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リハーサル④	各曲のブラッシュアップ。
第2回	当日リハーサル①	当日のリハーサル/サウンドチェックに充てる。
第3回	当日リハーサル②	当日のリハーサル/サウンドチェックに充てる。
第4回	当日リハーサル③	当日のリハーサル/サウンドチェックに充てる。
第5回	本番①	本番に充てる。
第6回	本番②	本番に充てる。
第7回	本番③	本番に充てる。
第8回	まとめ	準備から本番までを検証する。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	総合表現制作実習	実習	実	坂本浩志

科目概要

この科目は集中授業です。これまでに学んだ知識・経験を活かした、自主コンサート・イベントの実施と企画から実施までの総合的な報告書を提出し、それを評価します。  
 例：外部LIVE・コンサートの企画・運営・演奏/カリキュラム以外のコース・専攻主催コンサート・LIVEの企画・運営・演奏/情報広場コンサート・LIVE企画・運営・演奏/総2主催のライブの運営サポート

到達目標

自主コンサート・イベントを実施し、そのコンサート・LIVEの完成度を上げるための取り組みを行なう。また、自己の活動履歴や将来的な実施マニュアルとなるような記録を作成・蓄積する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		

クォーター末試験評価方法

--

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		

学期末試験評価方法

【報告方法】最終クォーター最終日までに担任へ提出。  
 主催者としての企画書と報告書(コンサート記録と収支等の報告)提出  
 学生複数人による合同企画も可(但し責任者明記)、企画書と報告書提出

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	プレゼンテーション I	演習	実	広田 靖之

科目概要

この授業は皆さんが社会に出るために必要な能力、知識の修得を目指す就業支援をコンセプトにしています。人に自分の考えや思いをアピールするためのプレゼンテーション(発表)や、各自の音楽活動における目標設定や進捗管理、目標達成度についての自己評価を行います。またプレゼンテーションで使用するMicrosoft PowerPointの操作についても学習します。

到達目標

人に対して自分の考えを効果的に伝えることができるようになる。目標設定から達成までの効果的な自己管理、状況に応じた目標修正など、柔軟な対応ができるようになる。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業概要の説明	音楽活動における自己プロデュースの重要性について
第2回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(1クォーターでの目標、1年間の目標)
第3回	自己表現演習	印象に残る自己紹介を行う
第4回	PowerPointの操作	Microsoft PowerPointの基本操作方法について
第5回	PowerPointの操作	Microsoft PowerPointの基本操作方法について
第6回	労働法について	労働法にかんする問題をグループで解答
第7回	レポート	1クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	1クォーターの目標、自己評価を踏まえて2クォーターの目標設定を行う
第2回	履歴書作成	音楽業界への就業を踏まえた履歴書作成
第3回	音楽プロフィール作成	パンフレット用音楽プロフィールの作成
第4回	音楽プロフィール作成	WEBサイト(SNS,ブログ)用音楽プロフィールの作成
第5回	自己表現演習	Microsoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第6回	睡眠の重要性について	自己管理の一環として睡眠の重要性の理解をする(自己の睡眠の質についてのチェックシート)
第7回	自己表現演習	前回の授業に関連するテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第8回	レポート	2クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	プレゼンテーション I	演習	実	広田 靖之

科目概要

この授業は皆さんが社会に出るために必要な能力、知識の修得を目指す就業支援をコンセプトにしています。人に自分の考えや思いをアピールするためのプレゼンテーション(発表)や、各自の音楽活動における目標設定や進捗管理、目標達成度についての自己評価を行います。またプレゼンテーションで使用するMicrosoft PowerPointの操作についても学習します。

到達目標

人に対して自分の考えを効果的に伝えることができるようになる。目標設定から達成までの効果的な自己管理、状況に応じた目標修正など、柔軟な対応ができるようになる。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(3クォーターでの目標、1年間の目標)
第2回	長所・短所分析	クラスの学生間で良いところ・長所を教え合い、自己の客観分析を行う
第3回	長所・短所分析	客観的視点を踏まえ、自己の長所・短所をまとめる
第4回	自己表現演習	前回の授業に関連するテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第5回	幼少期について	人格形成に大きな影響を与える幼少期についてを振り返り、その観点より自己分析を行う
第6回	自己表現演習	前回の授業に関連するテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第7回	レポート	3クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(4クォーターでの目標、1年間の目標)
第2回	ネットリテラシー	ソーシャルメディアでの音楽活動(自己プロデュース)における危険性を理解する
第3回	ネットリテラシー	的確な情報の利用、よりよい情報発信について
第4回	自己表現演習	前回の授業に関連するテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第5回	プレゼンテーション	各自でテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第6回	プレゼンテーション	各自でテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第7回	レポート	4クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出
第8回	レポート	今年度の目標の達成度、自己評価、今後の取り組みについてのレポートの提出

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	プレゼンテーションⅡ	演習	実	坂本浩志

科目概要

この授業は皆さんが社会に出るために必要な能力、知識の修得を目指す就業支援をコンセプトにしています。人に自分の考えや思いをアピールするためのプレゼンテーション(発表)や、各自の音楽活動における目標設定や進捗管理、目標達成度についての自己評価を行います。「プレゼンテーションⅠ」の内容を踏襲しますが、それぞれ、より深い内容を掘り下げます。

到達目標

人に対して自分の考えを効果的に伝えることができるようになる。目標設定から達成までの効果的な自己管理、状況に応じた目標修正など、柔軟な対応ができるようになる。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業概要の説明	音楽活動における自己プロデュースの重要性について
第2回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(1クォーターでの目標、1年間の目標)
第3回	自己表現演習①	印象に残る自己紹介を行う
第4回	自己表現演習②	①と違う内容で自己紹介を行う。
第5回	自己表現演習③	①②と違う内容で自己紹介を行う。
第6回	自己表現演習④	①②③と違う内容で自己紹介を行う。
第7回	レポート	1クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	1クォーターの目標、自己評価を踏まえて2クォーターの目標設定を行う
第2回	履歴書作成	音楽業界への就業を踏まえた履歴書作成
第3回	音楽プロフィール作成	パンフレット用音楽プロフィールの作成
第4回	音楽プロフィール作成	WEBサイト(SNS,ブログ)用音楽プロフィールの作成
第5回	自己表現演習⑤	自分の好きなアーティストについてのプレゼンテーションを行う。
第6回	自己表現演習⑥	自分の好きな「(任意)」についてのプレゼンテーションを行う。
第7回	自己表現演習⑦	自分の好きな「(任意)」についてのプレゼンテーションを行う。
第8回	レポート	2クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	プレゼンテーションⅡ	演習	実	坂本浩志

科目概要

この授業は皆さんが社会に出るために必要な能力、知識の修得を目指す就業支援をコンセプトにしています。人に自分の考えや思いをアピールするためのプレゼンテーション(発表)や、各自の音楽活動における目標設定や進捗管理、目標達成度についての自己評価を行います。「プレゼンテーションⅠ」の内容を踏襲しますが、それぞれ、より深い内容を掘り下げます。

到達目標

人に対して自分の考えを効果的に伝えることができるようになる。目標設定から達成までの効果的な自己管理、状況に応じた目標修正など、柔軟な対応ができるようになる。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(3クォーターでの目標、1年間の目標)
第2回	長所・短所分析	クラスの学生間で良いところ・長所を教え合い、自己の客観分析を行う
第3回	長所・短所分析	客観的視点を踏まえ、自己の長所・短所をまとめる
第4回	自己表現演習⑧	身近な人の紹介をする。(家族、友達)
第5回	自己表現演習⑨	身近な人の紹介をする。(家族、友達)
第6回	自己表現演習⑩	身近な人の紹介をする。(家族、友達)
第7回	レポート	3クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	目標設定	音楽活動における各自の目標設定を行う(4クォーターでの目標、1年間の目標)
第2回	ネットリテラシー	ソーシャルメディアでの音楽活動(自己プロデュース)における危険性を理解する
第3回	ネットリテラシー	的確な情報の利用、よりよい情報発信について
第4回	自己表現演習⑪	前回の授業に関連するテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第5回	プレゼンテーション	各自でテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第6回	プレゼンテーション	各自でテーマを定めMicrosoft PowerPointを用いたプレゼンテーションを行う
第7回	レポート	4クォーターでの目標の達成度、自己評価についてのレポートの提出
第8回	レポート	今年度の目標の達成度、自己評価、今後の取り組みについてのレポートの提出

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み姿勢に重点を置きます。

出席率:50%

平常点:25%

試験:25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	卒業制作/卒業演奏	実習	実	坂本浩志

科目概要

この科目は集中授業です。  
4年間の学習のまとめとして、専攻実技試験にむけての取り組みや作品の楽曲分析、作曲説明書の内容を評価します。

到達目標

4年間の集大成にふさわしい、しっかりとした理論/知識の裏付けのある演奏や作品制作ができるための準備として取り組みます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		

クォーター末試験評価方法

--

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		

学期末試験評価方法

最終クォーター最終日までに担任へ楽曲分析または作曲説明書を提出する。

--

共通科目群

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽英会話初級 I	演習		高梨/酒井

科目概要

このコースではいろいろなテーマを基に、自分が言ってみたい、聞いてみたいと思う体験を積んでいきます。チャンツのリズムを楽しみながら英語表現を身につけ、講師の話聞くだけでなく、ペアワークや活動を通して、英語を聞く楽しさ、英語を話す楽しさを実感します。英語の曲も歌います。

到達目標

学期の終わりには、自分の英語で伝えたいことを発表し、外国人と進んでコミュニケーションできるようになることが目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Nice to meet you!	自分から挨拶してみよう
第2回	I'm from Japan.	自分の出身地を紹介しよう
第3回	What's her name?	友だちにインタビューしてみよう
第4回	Where do you live?	その人のことを一言で表してみよう
第5回	She is interesting.	その人の特徴を伝えよう
第6回	This is my mother.	自分の大切な人やものを紹介しよう
第7回	Presentation(発表)	今まで習った英語で自己紹介や自分アピールの発表を行います。

クォーター末試験評価方法

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%  
 今求められる英語力とはコミュニケーションする力です。評価は普段の出席及び、間違いを恐れずに自分の思ったことを英語で表現しようとする態度を重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Three pizzas, please.	いくつ欲しいのかを伝えよう
第2回	How much is this bag?	買い物をしてみよう
第3回	Where are my keys?	家の中に何があるか教えよう
第4回	Is there a bus to the airport?	行きたい場所をたずねてみよう
第5回	What time does the library open?	時間を伝えよう
第6回	I go shopping on weekends.	週末には何をするかを伝えよう
第7回	Review	今学期の総復習をしよう
第8回	Presentation(発表)	外国人講師に自己紹介や週末の予定を発表します。

学期末試験評価方法

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%  
 コミュニケーションに必要なのは、難しい単語や文法よりも、何とか相手に伝えようとする気持ちや態度です。評価は普段の出席及び、学んだ英語を使って自分の思いを伝えたり、進んでコミュニケーションしようとする態度を重視します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽英会話初級Ⅱ	演習		高梨 / 酒井

科目概要

このコースではいろいろなテーマを基に、自分が言ってみたい、聞いてみたいと思う体験を積んでいきます。チャンツのリズムを楽しみながら英語表現を身につけ、講師の話聞くだけでなく、ペアワークや活動を通して、英語を聞く楽しさ、英語を話す楽しさを実感します。英語の曲も歌います。

到達目標

学期の終わりには、自分の英語で伝えたいことを発表し、外国人と進んでコミュニケーションできるようになることが目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Where do you work?	どんな職業に就きたいかを伝えよう
第2回	I do karaoke on Wednesdays.	普段していることを話してみよう
第3回	I can play baseball.	どんなことができるのかを伝えよう
第4回	I like Italian food.	簡単に作り方を教えよう
第5回	Can you call back later?	電話をしてみよう
第6回	Would you like to go to the movies?	上手な返答の仕方を考えよう
第7回	Presentation(発表)	今まで習った英語で自己紹介や自分をアピールする発表を行います。

クォーター末試験評価方法

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%  
 今求められる英語力とはコミュニケーションする力です。評価は普段の出席及び、間違いを恐れずに自分の思ったことを英語で表現しようとする態度を重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Please don't play loud music.	ルールについて話してみよう
第2回	I have a headache.	症状を伝えよう
第3回	I'm going to go sightseeing.	休暇に何をするか話してみよう
第4回	How was your vacation?	休暇の思い出を伝えよう
第5回	How much do you spend each month?	お金の使い方を話してみよう
第6回	How do I get to the bank?	わかりやすく道案内しよう
第7回	Review	今学期の総復習をしよう
第8回	Presentation(発表)	外国人の先生に自己紹介や休暇について発表します。

学期末試験評価方法

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%  
 コミュニケーションに必要なのは、難しい単語や文法よりも、何とか相手に伝えようとする気持ちや態度です。評価は普段の出席及び、学んだ英語を使って自分の思いを伝えたり、進んでコミュニケーションしようとする態度を重視します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽英会話初級 I	演習	実	岩橋 宣輔

科目概要

英会話ならびに英文法を、音楽的観点から学びます。  
尚、講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

到達目標

英語は難しい勉強であるという心理的なブロックを排し、母国語と同じような仕組みの上になり立っているコミュニケーションツールであるということ、および西洋音楽発展の歴史のうえで極めて密接な関係にあるということを理解する見地を育みます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	科目概要	講師自己紹介ならびにコース説明
第2回	音楽史と西洋言語の関係性概論	教会音楽の樹立からポップミュージックの発展に至るまでの音楽の歴史と、西洋言語の密接な関係性
第3回	SVO基本文型	英語の核となるSVO基本文型(主語・動詞・目的語)とその応用性
第4回	発音(1)	英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
第5回	発音(2)	子音と母音の個別発音演習
第6回	歌唱	詩や楽曲構造の解説の上、英語歌曲の演習
第7回	クォーター末試験	講師と一対一でのインタビュー形式試験

クォーター末試験評価方法

【試験方法】インタビュー試験  
文法的な正しさよりも、コミュニケーションとしての流暢さおよび応用性を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コミュニケーション演習(1)	グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
第2回	コミュニケーション演習(2)	同上。回数を重ねることで徐々に英語のみでのゲームの成立を目指します
第3回	英文法(1)	冠詞および過去形・過去分詞の違い
第4回	英文法(2)	前置詞および句動詞
第5回	総復習	夏期休暇明けのため、第1クォーターを含む学習内容の総復習
第6回	期末試験準備(1)	少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
第7回	期末試験準備(2)	同上。上記楽曲の実技演習
第8回	学期末試験	グループでの英語楽曲歌唱試験

学期末試験評価方法

【試験方法】歌唱試験  
口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽英会話初級 II	演習	実	岩橋 宣輔

科目概要

英会話ならびに英文法を、音楽的観点から学びます。  
尚、講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

到達目標

春学期に引き続き、英語がコミュニケーションツールとして普遍的なものであり、音楽とも密接な関係性にあることを学んでゆきます。秋学期は春学期から継続しての受講者と新規受講者が混在するため、カリキュラムが大幅に変更される可能性があります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	科目概要	講師自己紹介ならびにコース説明
第2回	音節(1)	英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
第3回	音節(2)	音節の教え方および発音実習
第4回	SVO基本文型	英語の核となるSVO基本文型(主語・動詞・目的語)とその応用性。春学期に引き続き、最重要テーマのため復習します
第5回	履歴書作成(1)	音楽関係者にとって重要なプロフィール文および履歴書を英語で作成
第6回	履歴書作成(2)	同上。上記履歴書に基づく自己PRプレゼンテーション実践
第7回	クォーター末試験	第5回、第6回の授業で作成したプレゼンテーションに基づく個別インタビュー試験

クォーター末試験評価方法

【試験方法】インタビュー試験  
文法的な正しさよりも、コミュニケーションとしての流暢さおよび応用性を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	第1回目の授業テーマ	第1回目の授業内容を50字以内で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。
第2回	クリスマスキャロル歌唱	西洋において重要な音楽文化であるクリスマスキャロルについての説明と歌唱
第3回	総復習	冬期休暇明けのため、第3クォーターを含む学習内容の総復習
第4回	コミュニケーション演習(3)	グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
第5回	コミュニケーション演習(4)	同上。より大人数でのグループ分けによるディスカッション形式でのゲームの成立を目標とします
第6回	期末試験準備(1)	少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
第7回	期末試験準備(2)	同上。上記楽曲の実技演習
第8回	学期末試験	グループでの英語楽曲歌唱試験

学期末試験評価方法

【試験方法】歌唱試験  
口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分	担当講師
春	音楽英会話中級 I	演習	ツアイ・ペイルン

科目概要

英語による日常的な言語活動(聴く・話す・読む・書く)が行えるよう、自然かつ流暢に英会話ができるようにする。尚、講師は音楽留学のカウンセリング、大学受験英語対策等の実務経験がある経験豊富なプロフェッショナルです。  
教材・参考書: 担当講師より指示される。辞書は必ず持参すること。

到達目標

自信を持って英語で会話できるようになるスキルを身につける。そのために必要な語彙と文法の習得及び、様々な内容のテキスト(グループディスカッション)の使用により、英語コミュニケーション能力をも養成する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	挨拶、自己紹介	Course overview. Getting to know each other.
第2回	楽器紹介 I	What's your favorite musical instrument?
第3回	楽器紹介 II	Introducing and playing your instrument in class.
第4回	どんな音楽が好きですか?	What kind of music do you like and why?
第5回	作曲家&作詞家紹介	Students will share and discuss their favorite composers.
第6回	復習	Review.
第7回	期中試験	Midterm exam.

クォーター末試験評価方法

試験: 20% 課題: 10% 発表: 35% 平常点: 35%  
合計: 100%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音楽用語	Beginner's guide to understanding musical terms.
第2回	海外旅行 I	Travel english overview
第3回	海外旅行 II	Travel english 2.
第4回	発表会 スピーチ I	What to say at recital?
第5回	発表会 スピーチ II	How to build the perfect recital welcome speech.
第6回	音楽祭紹介 I	What is your favorite music festival? Share your experience.
第7回	音楽祭紹介 II	Where is the festival be held? Discussions and feedbacks.
第8回	期末試験	Final exam.

学期末試験評価方法

試験: 30% 課題: 10% 発表: 30% 平常点: 30%  
合計: 100%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分	担当講師
秋	音楽英会話中級Ⅱ	演習	ツアイ・ペイルン

科目概要

英語による日常的な言語活動(聴く・話す・読む・書く)が行えるよう、自然かつ流暢に英会話ができるようにする。尚、講師は音楽留学のカウンセリング、大学受験英語対策等の実務経験がある経験豊富なプロフェッショナルです。  
教材・参考書:担当講師より指示される。辞書は必ず持参すること。

到達目標

自信を持って英語で会話できるようになるスキルを身につける。そのために必要な語彙と文法の習得及び、様々な内容のテキスト(グループディスカッション)の使用により、英語コミュニケーション能力をも養成する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日常英会話(学校)	Course overview. Getting to know each other.
第2回	将来の計画	Long-term and short-term goals.
第3回	音楽の履歴を書く	How to write a resume.
第4回	音楽のプロフィールを書く	How to write a profile.
第5回	リハーサル演奏技法	Improving students' speaking ability through rehearsal.
第6回	復習	Review.
第7回	期中試験	Midterm exam.

クォーター末試験評価方法

試験:20% 課題:10% 発表:35% 平常点:35%  
合計:100%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	面接(大学)	Improving college interview skills.
第2回	面接(仕事)	Improving job interview skills.
第3回	演奏会感想	Recital review.
第4回	コンサート紹介Ⅰ	Concert experience: When? Where?What's the program?
第5回	コンサート紹介Ⅱ	Concert review.
第6回	マスタークラス	Improving students' speaking ability through masterclass.
第7回	復習	Review.
第8回	期末試験	Final Exam.

学期末試験評価方法

試験:30% 課題:10% 発表:30% 平常点:30%  
合計:100%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	PV制作 I	演習	実	奈良部匠平

科目概要

アーティストとして自己の楽曲を、より多くの人々に届けるため、Adobe DTPソフトを活用し、CDデザイン、ミュージック・ビデオ制作、フライヤー制作、Webデザイン、CMやプロモーション・ビデオの動画制作を目的とします。講師は渡辺美里・吉川晃司・米米CLUBなどのライブサポート、レコーディングに作・編曲科、キーボードプレイヤーとして参加。米 New Yorkにて20年間 同様の音楽活動などの実績がある。

到達目標

Adobe DTPソフトを繰り返し活用し、ヴィジュアルアート制作をすることで、ソフトの機能を知り、ヴィジュアル効果を体験し、楽しみながらスキルを身につけることが目標です。またVideoに対する音楽の多大な重要性も理解できると思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Visualアートについて	PV鑑賞やデザインの例を観て、音楽やVisualアートについてのディスカッションします。
第2回	明かり・光について	光の性質の違いによるテクスチャーを体験。静止画を室内光・太陽光・スタジオライトで撮影する。
第3回	Photoshopの基本操作	CDジャケットを念頭に撮影した静止画をAdobe Photoshopに入れて明るさや色の調整を体験する。
第4回	CDジャケット制作1	写真素材を集めPhotoshopでCDジャケットサイズに加工・合成。
第5回	CDジャケット制作2	Photoshopのマジックワンドの切り抜きなど、ツールを使った編集作業をする。
第6回	CDジャケット制作3	Adobe Illustratorを使い、CD工場のテンプレートに写真素材や文字入れをする。
第7回	CDジャケット完成・提出	CDジャケット制作を完成し提出する。作品についてのコメント/ディスカッション。

クォーター末試験評価方法

Photoshop、Illustratorの理解度。作品のオリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PV制作について	様々なプロモーションビデオを観てディスカッションをします。クロマキー撮影や編集例も観ます。
第2回	PV 絵コンテを撮影	PVの企画書と使用するオリジナル曲を提出します。絵コンテを完成します。
第3回	PVの実写	絵コンテに沿って、映像素材の撮影を行います。クロマキー撮影も可能。
第4回	PVの編集1	残りの撮影と必要に応じてエフェクトなどを用いて編集を始めます。
第5回	PVの編集2	編集の続きを行い提出します。
第6回	PVの編集3	編集の続きを行い提出します。
第7回	画像編集の復習	CDジャケットの復習を兼ねた制作をしそれを完成し提出します。
第8回	作品発表	制作物の発表と、その作品についてのコメント/ディスカッション。

学期末試験評価方法

PV作品の完成度、オリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	PV制作Ⅱ	演習	実	奈良部匠平

科目概要

アーティストとして自己の楽曲を、より多くの人々に届けるため、Adobe DTPソフトを活用し、CDデザイン、ミュージック・ビデオ制作、フライヤー制作、Webデザイン、CMやプロモーション・ビデオの動画制作を目的とします。講師は渡辺美里・吉川晃司・米米CLUBなどのライブサポート、レコーディングに作・編曲科、キーボードプレイヤーとして参加。米 New Yorkにて20年間 同様の音楽活動などの実績がある。

到達目標

デスクトップ・パブリッシング(DTP)のソフトを更に使いこなして、テクニックを身に付け、将来的な応用に役立てて欲しいと思います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	画像編集ソフト・アドバンス	PhotoshopとIllustratorのアドバンス・テクニックを学びます。
第2回	名刺制作	画像編集ソフトを使い名刺制作をします。
第3回	フライヤー制作 1	画像編集ソフトを使いコンサートのフライヤーを制作をします。
第4回	フライヤー制作 2	フライヤーを完成します。
第5回	Webデザイン制作1	多様な音楽系Webデザインを鑑賞し、Webフロントページのデザインにとりかかります。
第6回	Webデザイン制作2	Webフロントページのデザインを完成します。
第7回	提出と作品発表	3rdクォーターの作品発表とディスカッションをします。

クォーター末試験評価方法

Photoshop、Illustrator活用の理解度。作品のオリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	CM音楽と映像を考える	CM作品を鑑賞・ディスカッションし、個々が撮影制作可能なCM作品を企画し、絵コンテを描く。
第2回	CM絵コンテを撮影	個々に書いた絵コンテを静止画に撮影し、Adobe Photoshopで色付け作業をする。
第3回	CM絵コンテを編集	加工された静止画の絵コンテをAdobe Premiereに取り込み、音楽に載せて編集する。
第4回	CMの実写	制作した絵コンテVideoに準じて映像の実写をする。クロマキー撮影及び編集を説明します。
第5回	CMの実写と編集	動画撮影の続きと Premiereの編集作業。
第6回	CMの編集	動画編集作業の続き、個々へのアドバイス。
第7回	CM作品完成・提出	編集・書き出し作業と提出。
第8回	CM作品発表	制作物の発表と、その作品についてのコメント/ディスカッション。

学期末試験評価方法

CM作品の完成度、オリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	基礎音楽史 I	講義	実	岡澤理絵

科目概要

生活の中にいつも音楽があります。一体いつから存在したのでしょうか？ルーツは古代ですが、授業では楽譜らしいものが存在し音が再現できた時代から始めます。この科目では講師の実務経験(様々な分野での作曲編曲家、教育現場での活動)に基づき、様々な時代を知ると同時に、当時活躍した作曲家やその音楽のスタイルなどについてを、知識と音楽から学んでいきます。

到達目標

バロック・古典・ロマン派前期を主に学びます。時代背景とともに作曲家自身の生涯や作曲された音楽を知ることが自分の活動に活かされます。メロディーを聞いて時代、作曲者、曲名が分かるようになります。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス・音楽史の流れ	各時代の年代と名称、主な国や作曲家などを紹介し、曲調が異なるのを耳で確認してみます。
第2回	ヴィヴァルディ	ルネサンスまでの音楽とバロックの違いを理解し、協奏曲・通奏低音など、この時代に関わる言葉を音楽を聞きながら覚えます。
第3回	バッハ	後世に多大なる影響を与えた大作曲家ヨハン・セバスチャン・バッハの作風や、主な作品について紹介します。
第4回	バッハとヘンデル	同じ年に同国生まれ、目の病の担当医まで一緒だった2人を比較しながら、生い立ち・当時の音楽家のことについて学びます。
第5回	古典派について・ハイドン	100曲以上の交響曲を作ったハイドンと、ソナタ形式・交響曲など形式についてを、楽譜と音で理解しましょう。
第6回	モーツァルト	35年の短い生涯に600~700曲も曲を作り神童といわれたモーツァルトと、当時の宮廷と音楽家の関係についてみましょう。
第7回	モーツァルトについてのレポート作成	モーツァルトの生涯やエピソード・作品や作風などを調べ、レポートを作成します。

クォーター末試験評価方法

出席・平常点60%、レポート40%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ベートーヴェンの生涯と背景	生い立ち、家族関係や性格、生活振りに恋愛エピソード、曲風についてと、時代背景について学びます。
第2回	ベートーヴェンの作品	後の作曲家にたくさん影響を与えた交響曲・ピアノソナタを中心に、作品を楽譜と音で覚えましょう。
第3回	ロッシーニ	イタリアオペラ作曲家の彼は、裕福で大変なグルメでした。作品・エピソードを紹介します。
第4回	これまで書かれたオペラの紹介	バロックオペラの作曲家やその内容、モーツァルトの書いた主なオペラ、ベートーヴェンのフィデリオなどについて紹介します。
第5回	セビリアの理髪師の鑑賞	ロッシーニ作曲のオペラ「セビリアの理髪師」を鑑賞し、感想をミニレポートに書きます。
第6回	楽器の進化と、管弦楽の響き	オーケストラの編成を調べてみましょう！それからヴァイオリニスト、パガニーニについて紹介します。
第7回	なぜ指揮者が必要になったのか？	作曲家の生活や、曲が作られる目的が変化してきたことを理解します。絶対音楽と標題音楽についても学びます。
第8回	発表形式の試験です	ベートーヴェンの生涯やエピソードを発表、又は彼の作品や関連する曲の演奏などを、各自が行います。

学期末試験評価方法

出席・平常点60% 発表・ミニレポート40%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	基礎音楽史Ⅱ	講義	実	岡澤理絵

科目概要

ロマン派から近現代までを学びます。作曲家の思想・友人との交流・生活振りなどに触れ、作風も学びます。この科目では講師の実務経験(様々な分野での作曲編曲家、教育現場での活動)に基づき、様々な曲の中に取り入れられた中世の音楽グレゴリオ聖歌、自国の民謡をメロディーに用いた作品を分析します。Ⅳクォーターでは各自がテーマを持ち、発表形式で授業を行います。

到達目標

国ごとの時代背景なくして作品は生まれなかったことを理解する。曲の特徴などは当時の思想、作曲家のキャラクターや人間関係によるところも多い。自らが調べることにより、より一層身に付きます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロマン派とは? メンデルスゾーン	自作自演が中心で多作が求められる時代から、じっくり作曲が行われるようになりました。個性・感性が重視されるロマン派です。
第2回	シューベルト	31歳の短い生涯で歌曲の王様と言われている彼についてと、ゲーテ・ミュラーなど詩人との文学的交流について学びます。
第3回	シューマン	浮き沈みが激しい生涯、女流ピアニストで妻のクララとの関係、作曲の他に執筆も行っていたシューマンについて学びます。
第4回	ショパン・リスト	ピアノの詩人といわれたショパンと、1歳年下でピアノの魔術師といわれたリスト。2人の相違を、作品と共にみていきます。
第5回	ベルリオーズ/オーケストレーション	ドラマチックな生涯を送ったベルリオーズについて、彼の代表作「幻想交響曲」の分析を行います。交響詩についても学びます。
第6回	ブラームス・ワーグナー	後期ロマン派で作風も性格も異なる2人について、その生涯や後に与えた影響・作品を紹介します。
第7回	古典・ロマン派を比較しよう	古典・ロマン派を様々な面から比較する記述と、曲当てを行います。

クォーター末試験評価方法

出席・平常点60%、試験40%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フランス①	ロマン派のドイツ音楽と、ハーモニーなど比較してみよう。サンサーンス・サティについて。6人組の名前も覚えよう。
第2回	フランス②ドビュッシー、ラヴェル	ドビュッシー、ラヴェルの功績、印象派の作風を調べてみよう。全音階・教会旋法が使用されている曲をみつけてみよう。
第3回	ロシア①	チャイコフスキーとストラヴィンスキーが作曲した3大バレエ組曲について。ラフマニノフについても学びます。
第4回	ロシア②	5人組の名前を覚え、ショスタコーヴィチ・プロコフィエフと共に、作品の特徴、生涯についても学びましょう。
第5回	ハンガリー・北欧その他	バルトーク・コダーイ・シベリウス・グリーグ・ドボルザーク・スメタナの国と作品紹介、作風について学びます。
第6回	アメリカ	ジャズの影響を受けて作曲を行ったガーシュウィン・コープランド、幅広く活躍したバーンスタインについて学びます。
第7回	新しい表現方法を用いた音楽	ドイツ表現主義の作曲家と作品・ミニマル・偶然性・コンピュータミュージック・そしてピアソラのタンゴ等を紹介します。
第8回	一年間の授業を振り返る	ロマン派からは急ピッチで進めてきました。興味を持った点について各自が深く掘り下げて下されば幸いです。

学期末試験評価方法

出席・平常点60%、発表40%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	ポピュラー音楽史 I	講義	実	稲見 英夫

科目概要

ポピュラー音楽が生まれてから1970年代までの間に発展していった過程とその期間に構築・形成された様々な音楽ジャンルについて学習します。尚、講師はこの科目の内容に関連する実務経験(TV、映画、CMの音楽制作など、作曲家、編曲家、マネージャーとしての活動)を持っております。

到達目標

この期間に登場するたくさんのアーティスト、作品群をはじめ、それらに関する文化や社会情勢等を知ることによって、各自が新しい発見をして、音楽性の幅を広げられるための切っ掛けにすることを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ポピュラー音楽の起源	ルーツミュージック(ブルース、ゴスペル、ジャズ)の発祥。ポピュラー音楽のルーツを探ります。
第2回	ブルース	ブルースを例にみたポピュラー音楽の発展形。サブジャンルについて。
第3回	ジャズ①	1940年以前のジャズ(ニューオリンズジャズ、スウィング等)。ポピュラー音楽の発展と社会経済の関連性について。
第4回	ジャズ②	1940年以降のジャズ(モダンジャズ、アバンギャルドジャズ等)商業音楽と芸術音楽の相違点について。
第5回	リズム&ブルースとソウル	ノーザンソウル、ブルーアイドソウル、ニューソウル等。公民権運動との関連性について。
第6回	ゴスペル	ジュビリー、ゴスペルクワイヤー、コンテンポラリーゴスペル等。商業主義と反商業主義の相違点について。
第7回	1クォーター末試験	リスニングテスト、並びに主に小論文形式による筆記試験。1クォーター授業内容の総合的な理解度確認を行います。

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方を出席点にて、内容の理解度をリスニングテストと筆記試験にて、それぞれ評価します。  
出席点50% リスニングテストと筆記試験50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	カントリーミュージック	ブルーヨードル、ブルーグラス、ニューカントリー等。欧州移民が持ち込んだ音楽的文化のアメリカでの発展型について。
第2回	ロックンロール、ロカビリーとフォークソング	ピュアロカ、ネオロカ、サイコビリー、プロテストフォーク等。オールディーズという呼称について。
第3回	60~70'sブリティッシュロック	第一次ブリティッシュインベイション。60~70年代のイギリス産ロックとその背景について。
第4回	60~70'sアメリカンロック	サイケデリックロック、フォークロック、ウエストコーストロック等。60~70年代のアメリカ産ロックとその背景について。
第5回	ファンクとディスコ	オーケランドファンク、オハイオファンク、ディスコ等。60~70年代に出現した特異性のあるポピュラー音楽について。
第6回	パンクロック	ニュー/オールドスクールハードコアパンク、エモ・スクリーモ等。70年代に出現した特異性のあるポピュラー音楽について。
第6回	プレゼンテーション(春学期 前半)	ポピュラー系のアーティスト1名を挙げ、属するジャンルや来歴等についてのプレゼンテーションを実施する。(春学期 前半)
第7回	プレゼンテーション(春学期 後半)	ポピュラー系のアーティスト1名を挙げ、属するジャンルや来歴等についてのプレゼンテーションを実施する。(春学期 後半)

学期末試験評価方法

授業への取り組み方を出席点にて、内容の理解度をプレゼンテーションにて、それぞれ評価します。  
出席点50% プレゼンテーション50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	ポピュラー音楽史Ⅱ	講義	実	稲見 英夫

科目概要

1980年代から現代までの間にポピュラー音楽が発展していった過程とその期間に構築・形成された様々な音楽ジャンルについて学習します。尚、講師はこの科目の内容に関連する実務経験（TV、映画、CMの音楽制作など、作曲家、編曲家、マネージャーとしての活動）を持っており、ます。

到達目標

この期間に登場するたくさんのアーティスト、作品群をはじめ、それらに関係する文化や社会情勢等を知ることによって、各自が新しい発見をして、音楽性の幅を広げられるための切っ掛けにすることを目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	電子系音楽	テクノポップ、アンビエント、エレクトロニカ等。 電子楽器の導入、発展とポピュラー音楽の関連性について。
第2回	ニューウェーブとニューロマンティック	第二次ブリティッシュインベージョン。 80年代のイギリス産ポップスとその背景について。
第3回	80'sアメリカンロック	AOR、アメリカンポップロック、ハードランドロック等。 80年代のアメリカ産ポップスとその背景について。
第4回	ヘヴィメタル	NWOBHM、シンフォニックメタル、デスメタル、メタルコア等。 サブジャンルが特に多い音楽ジャンルの発展例(1)。
第5回	ダンスミュージック	EDM系、ダブステップ、トランス、ハウス、アシッドジャズ等。 サブジャンルが特に多い音楽ジャンルの発展例(2)。
第6回	ジャマイカの音楽	スカ、ロックステディ、ルーツレゲエ、ダンスホールレゲエ等。 米英以外の地域でのポピュラー音楽の特殊な発展例について。
第7回	3クォーター末試験	リスニングテスト、並びに主に小論文形式による筆記試験。 3クォーター授業内容の総合的な理解度確認を行います。

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方を出席点にて、内容の理解度をリスニングテストと筆記試験にて、それぞれ評価します。  
出席点50% リスニングテストと筆記試験50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ヒップホップ	イースト/ウエストコースト系、ギャングスタ、Gファンク等。 アフロアメリカンの新たなアイデンティティーとその文化について。
第2回	R&B(アールアンドビー)	ニュークラシックソウル、オーガニックソウル、トラップ等。 90年代以降のブラックミュージックの総括。
第3回	90年代以降のロック	オルタナティブロック、ポストロック、ニューメタル等。 90年代以降のロック系音楽を総括。
第4回	ワールドミュージック①	中南米系(キューバ、ブラジル、ボリビア、アルゼンチン等)の音楽。 地域ごとの歴史、文化、言語によって異なる音楽性について。
第5回	ワールドミュージック②	欧州系(アイルランド、イタリア、フランス、スウェーデン等)の音楽。 地域ごとの歴史、文化、言語によって異なる音楽性について。
第6回	日本のポピュラー音楽	ポピュラー音楽の総括。 日本のポピュラー音楽のルーツとアイデンティティーについて。
第7回	プレゼンテーション(秋学期 前半)	ポピュラー系のアーティスト1名を挙げ、属するジャンルや来歴等についてのプレゼンテーションを実施する。(秋学期 前半)
第8回	プレゼンテーション(秋学期 後半)	ポピュラー系のアーティスト1名を挙げ、属するジャンルや来歴等についてのプレゼンテーションを実施する。(秋学期 後半)

学期末試験評価方法

授業への取り組み方を出席点にて、内容の理解度をプレゼンテーションにて、それぞれ評価します。  
出席点50% プレゼンテーション50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	DTP制作	演習	実	広田 靖之

科目概要

コンピュータの基本操作を学びます。MicrosoftOffice(word・excel)、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopの操作方法、及びデザイン、印刷物の制作についてを学習し作品制作を行います。尚、講師はインターネット業界、ゲーム・エンターテイメント業界でのデザイン、プランニング、プロデュース経験を持ちます。

到達目標

音楽活動、就業活動を行う際に必要となる案内状をはじめとしたビジネス文書、及びプロフィールシートやフライヤー、CDジャケットレーベルなどの制作方法の習得を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PCの基本操作	PCの操作、周辺機器の取扱い、ウイルスチェック (正しい電源オンオフ、データ保存、アプリケーションの起動)
第2回	メールを打つ	文書(メール)の書式を説明します。
第3回	案内状を作る	wordを使ってイベント案内状を作成します。
第4回	図を描く	wordを使って地図を作成します。 (オートシェイプ、図形の調整の活用)
第5回	プロフィールシート制作1	プロフィールシート記載用の自己PR情報をまとめます。
第6回	プロフィールシート制作2	wordを使ってプロフィールの作成を行います。 (ワードアート、挿入、段落設定などの活用)
第7回	作品提出	プロフィールシートを完成させます。

クォーター末試験評価方法

作品提出をおこないます。  
授業で学んだwordの各種機能を活用しているか、また作品の完成度を評価します。  
出席:30% 平常点:30% 試験:40%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	excelを使う	excelの操作説明をします。
第2回	表を作る	excelを使ってスコア表を作成します。
第3回	Illustratorを使う	Illustratorの基本操作説明をします。
第4回	ロゴ制作1	Illustratorの基本機能を使いロゴマークをデザインします。 (各種図形ツール、文字ツールの理解)
第5回	ロゴ制作2	Illustratorの様々な機能を活用しロゴマークをデザインします。 (パスファインダ、パス上文字ツールの理解)
第6回	ネームカード制作1	ネームカードの記載情報、デザインアイデアをまとめます。
第7回	ネームカード制作2	Illustratorでネームカードの作成を行います。 (レイヤー、トリムマーク設定の理解)
第8回	作品提出	Illustratorでネームカードを完成させます。

学期末試験評価方法

作品提出をおこないます。  
授業で学んだIllustratorの各種機能を活用しているか、また作品の完成度を評価します。  
出席:30% 平常点:30% 試験:40%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	WEB制作	演習	実	広田 靖之

科目概要

デザイン系アプリケーションの基本操作を習得します。Adobe Illustrator・Adobe photoshopなどのアプリケーションを活用して作品制作を行います。またインターネットでの自己発信のため、WEBツールの活用を行います。尚、講師はインターネット業界、ゲーム・エンターテイメント業界でのデザイン、プランニング、プロデュース経験を持ちます。

到達目標

音楽活動、就業活動を行う際に必要となる案内状をはじめとしたビジネス文書、及びプロフィールシートやフライヤー、CDジャケットレーベルなどの制作方法の習得を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	photoshopを使う	photoshopの基本操作説明をします。
第2回	画像レタッチ1	photoshopを使って画像の取り込み、加工を行います。 (画像サイズ変更、フィルタの活用)
第3回	画像レタッチ2	photoshopを使ってコラージュを行います。 (レイヤー、色調補正の活用)
第4回	フライヤー制作1	コンサート・フライヤーの記載情報についてを理解し、デザインアイデアをまとめます。
第5回	フライヤー制作2	Illustratorでコンサート・フライヤーの作成を行います。
第6回	フライヤー制作3	Illustratorでコンサート・フライヤーの作成を行います。
第7回	作品提出	Illustratorでコンサート・フライヤーを完成させます。

クォーター末試験評価方法

作品提出をおこないます。  
授業で学んだIllustrator、Photoshopの各種機能を活用しているか、また作品の完成度を評価します。

出席:30% 平常点:30% 試験:40%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	インターネット(情報収集)	ブラウジングにおける注意点の説明をします。 検索サイトで情報収集を行います。
第2回	インターネット(情報発信)	音楽活動のためのWEBの活用についてを説明します。
第3回	インターネット(ツールの活用)	効果的な情報発信のためにWEBツール(SNS、ブログ)の理解と活用を考えます。
第4回	CDジャケット制作1	CDジャケットの記載情報を理解し、アイデアをまとめます。
第5回	CDジャケット制作2	IllustratorでCDジャケットの作成を行います。
第6回	CDジャケット制作3	IllustratorでCDジャケットの作成を行います。
第7回	CDジャケット制作4	IllustratorでCD盤面デザインの作成を行います。
第8回	作品提出	IllustratorでCDジャケット、CD盤面を完成させます。

学期末試験評価方法

作品提出をおこないます。  
授業で学んだIllustrator、Photoshopの各種機能を活用しているか、また作品の完成度を評価します。

出席:30% 平常点:30% 試験:40%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽産業研究	講義	実	有馬知章

科目概要
この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー)に基づき音楽産業を音楽の形態の変化を追うことによって理解します。産業としての音楽を理解します。これから音楽の仕事をするにあたって、自分の才能を伸ばせる職場を見つけられるように、音楽のジャンルや形態による発展を振り返り、どのように発展したかを理解します。
到達目標
音楽の産業、音楽の仕事について理解し、自分との関わり方を理解します。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	産業としての音楽	音楽の産業とはどういうものか？音楽を仕事にすることを考えます。
第2回	音楽産業の歴史	産業としての音楽について考えます。クラシック音楽の産業。
第3回	音楽産業の形態 I	宗教音楽、宮廷音楽が始まった西洋音楽が市民の文化への変化していく過程について研究します。
第4回	音楽産業の形態 II	今流行りのダンス音楽の源流をさぐります。
第5回	音楽産業の形態 III	オペラからミュージカルへ興行について研究します。
第6回	音楽産業の形態 IV	映画音楽について研究します
第7回	理解の確認	筆記試験
クォーター末試験評価方法		
授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メディアと音楽 I	テレビコマーシャルの音楽について、制作体制について研究します。
第2回	メディアと音楽 II	テレビドラマ 劇伴について研究します。
第3回	IT産業と音楽	音楽配信について研究します。ダウンロードからストリーミングについて。
第4回	音楽メディアの変化 I	音楽メディアの進化と音楽市場について研究します。ジュークボックス、レコード、CD、インターネットについて。
第5回	音楽メディアの変化 II	音楽産業と一般市場の関わりと変化について研究します
第6回	音楽企画・制作 I	職業音楽家について研究します。
第7回	音楽企画・制作 II	自分で企画する音楽について研究します。音楽産業の合理化について考えます。
第8回	理解の確認	筆記試験
学期末試験評価方法		
授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	楽器業界研究	講義	実	有馬知章

科目概要

この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー)に基づき伝統的な楽器を制作している歴史ある楽器メーカー、現代のハイテクを利用した楽器メーカーを研究します。

到達目標

自分が使う楽器について歴史・制作工程・材質などについての知識を身につけます。伝統的な楽器メーカーについて理解します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽器の産業とは？	音楽産業と楽器産業の関係について研究します。
第2回	欧米の楽器メーカー I	三大ピアノメーカーについて研究します。
第3回	欧米の楽器メーカー II	ヴァイオリンメーカーについて研究します。ヨーロッパからアメリカへ渡った主要楽器産業について研究します。
第4回	新しい楽器の出現	ジャズ、R&Rで使用される楽器について研究します。エレキギターについて。
第5回	音楽を変えた楽器	電気楽器の出現と音楽の変化について研究します。
第6回	電子楽器の発明	シンセサイザーの歴史、それによって変わった音楽について研究します。
第7回	理解の確認	筆記試験

クォーター末試験評価方法

授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日本の楽器産業 I	戦前からの日本の楽器産業について研究します。
第2回	日本の楽器産業 II	戦後の日本の楽器産業について研究します
第3回	世界へ進出する日本の楽器	世界の音楽を変える日本の楽器産業について研究します。
第4回	ハイテクと楽器業界	シリコンバレーから始まった新しい楽器について研究します。
第5回	NAMMショー	日本の楽器市場と世界・世界の楽器業界のイベントについて研究します
第6回	楽器輸入	海外から日本へ輸入される楽器について、輸入代理店の仕事を研究します。
第7回	新しい楽器とこれからの楽器産業	ソフトウェアによる楽器について、商品化する楽器のありかたについて・新しい楽器の流通について研究します
第8回	理解の確認	筆記試験

学期末試験評価方法

授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽著作権 I	講義	実	松山 誠

科目概要

ユニクロはTシャツを売ったところでそのビジネスが終わりますがCDは売れた時点からビジネスが始まります。即ちCDは著作権他の権利の集合体なので、著作権法や契約の定めるところに従い、しかるべき権利者に正当な分配が終わるまでビジネスは完結しません。独特なビジネス構造を理解しないかぎり音楽業界で働くことは困難です。その構造を分かり易く講義していきます。  
講師の実務経験:メジャーレコード会社での著作権業務を皮切りに、仲間らと共に創設したレコード会社を経営、その後、著作権の管理コンサルティング会社を創設、運営。

到達目標

著作権の目的や成立、発達の歴史を学び、  
著作権が一部の才能ある者の為にあるのではなく広く皆の為にあることを理解する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作権とはなにか？	著作権とはなにか？を「著」「作」「権」という三文字を使って定義づけてみる。
第2回	著作権の誕生	著作物は太古の昔から存在していたが、「著作権」というアイデアが生まれたのは比較的新しい。
第3回	著作物とは何か？	それは著作物か？それは「なぜ」著作物であり、それは「なぜ」著作物でないのか、「なぜ」を理解する。
第4回	著作物の要件である「創作性」とは何か？	著作権で重要な概念である「創作性」に特に着目する 著作権法が要求する「創作性」とはどこまでかを学ぶ
第5回	著作者とは何か？	著作物は必ずしも「人」が創作するとはかぎらない。 著作物、著作者、著作権の違いを明解に理解する。
第6回	著作者人格権	人格に権利が付与される法律は「著作権法」だけ！人格権の付与が著作権法のユニークさを裏付けることを理解する。
第7回	理解の確認	クォーター末試験

クォーター末試験評価方法

著作権→著作権と著作隣接権→著作権と著作者人格権の相違ができていますか？

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作(財産)権	著作権は権利の束 著作権は一つの権利ではなく、何種類もあることを学ぶ
第2回	著作権の変動	著作者と著作権者は違う！著作権はなぜビジネスになじむのか？それは著作権は変動するからであることを理解する
第3回	ベルヌ条約と万国著作権条約	よく見かける©表示とは何ですか？©表示に題材を取りながら、異なる国の間でどのように著作権を保護しあうのか？を理解する
第4回	著作権の期限	著作権は永遠不滅の権利ではない！なぜ著作権には期限があるのか、を学び、著作権法の意義を探る
第5回	著作隣接権	著作物はそれを伝えるものを必要とする、著作権に準じる権利としての著作隣接権を理解する
第6回	著作権の制限	著作権は強力な権利であるが、ある局面においては強く制限される、著作権はどのような局面で制限されるのかを学ぶ
第7回	盗作裁判と著作権	盗作か否かの判断はどこでなされるのか？ 盗作裁判(アメリカ1件、日本2件)を通じてその基準を学ぶ
第8回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

学期末試験評価方法

著作権には種類があること、期限があることを理解しているか？著作権の国際間の保護の実態を把握しているか？

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽著作権Ⅱ	講義	実	松山 誠

科目概要

ユニクロはTシャツを売ったところでそのビジネスが終わりますがCDは売れた時点からビジネスが始まります。即ちCDは著作権他の権利の集合体なので、著作権法や契約の定めるところに従い、しかるべき権利者に正当な分配が終わるまでビジネスは完結しません。独特なビジネス構造を理解しないかぎり音楽業界で働くことは困難です。その構造を分かり易く講義していきます。  
講師の実務経験:メジャーレコード会社での著作権業務を皮切りに、仲間らと共に創設したレコード会社を経営、その後、著作権の管理コンサルティング会社を創設、運営。

到達目標

音楽ビジネスを計数的に捉えることができるレベルまでに到達する

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音楽産業の基本構造と権利関係	アーティストがデビューするとき交わす3種類の契約。シンガーソングライターが持つ3つの権利。CDは著作権と2つの著作隣接権の三層構造
第2回	JASRACと著作権	JASRACって何するところ？音楽著作権の根幹をなす著作権とその管理団体JASRACをその成立のいきさつから理解する
第3回	音楽出版社の役割その1	本を出さないのに何故音楽出版社っていうの？レコード業界の陰の主役音楽出版社の歴史をたどりその役割を学ぶ
第4回	音楽出版社の役割その2	よく耳にする原盤って何？レコード業界の表の主役レコード会社が制作する原盤を理解しながらレコード製作者の著作隣接権を学ぶ
第5回	音楽出版社の役割その2	よく耳にする原盤って何？レコード業界の表の主役レコード会社が制作する原盤を理解しながらレコード製作者の著作隣接権を学ぶ
第6回	再販制度と著作権(独禁法)	なぜCDは自由主義経済では例外である再販商品に指定されているのか？を理解する
第7回	理解の確認	クォーター末試験

クォーター末試験評価方法

原盤と出版、再販制度、ジャスラックなど、音楽業界での必須用語を正確に力できているか？

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	貸しレコードの歴史と私的複製権	日本独自のビジネス形態である貸しレの背景と実際と私的録音行為の範囲を学ぶ
第2回	肖像権	著作者と著作権者は違う！著作権はなぜビジネスになじむのか？それは著作権は変動するからであることを理解する
第3回	外国曲の著作権	外国曲を使用するのも国内曲と同じ？邦楽曲と外国曲で異なる取り扱いを学ぶ
第4回	適法訳詞と著作権	他人の楽曲を訳するのは自由？外国曲を日本語に訳す場合の注意点を理解する
第5回	映画音楽と著作権	映画で音楽を使用するにあたっての注意点は？映画への音楽使用にあたりオリジナルと既成曲を使うに際しての差異を学ぶ
第6回	CM音楽と著作権	著作権は強力な権利であるが、ある局面においては強く制限される、著作権はどのような局面で制限されるのかを学ぶ
第7回	実演家・レコード製作者と貸しレコード	貸しレコードで使用されるレコードの音源の使用料はどうなっているのか？貸しレコードで使用される音楽とその使用料の実際を学ぶ
第8回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

学期末試験評価方法

外国曲と邦楽曲の取り扱いの差異が理解できているか？  
翻訳や逆カバーの仕組みを理解できているか？  
映画・CM・放送における音楽利用の仕組みを理解できているか？

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽著作権実務 I	講義	実	松山 誠

科目概要

「ビジネス著作権検定<初級>」という資格取得を目標に、広く音楽だけにとどまることなく著作権全般についての知識の習得を目指すことにより、著作権法の目的についての知識を高めることを目的とします。  
 講師の実務経験:メジャーレコード会社での著作権業務を皮切りに、仲間らと共に創設したレコード会社を経営、その後、著作権の管理コンサルティング会社を創設、運営し、15年前から当学校にて著作権講師。

到達目標

資格を取得し、音楽業界で働く意味を理解する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	イントロダクション	ビジネスと法に関する基礎知識～「契約する」とは何のこと？
第2回	著作権法の目的	著作権法とはどのような法律か？
第3回	そもそも著作物とは何か？ 何が著作物でないか！	猿が描いた絵は著作物か？コップとガラス工芸家が作ったコップの差はどこにあるか？
第4回	二次的著作物・編集著作物・データベースの著作物とは？	オリジナルだけが著作権ではない、ビジネスにおいては翻訳・翻案・変形・脚色・映画化など二次的利用形態が非常に多い
第5回	著作者と著作者人格権	著作者とは誰か？人格権とは何か？
第6回	著作権の代表的権利	複製権など直接ビジネスに結びつく権利を学ぶ
第7回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

クォーター末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作隣接権	実演家・レコード製作者・放送事業者の権利
第2回	著作権・著作隣接権の保護期間	期限付きの権利としての著作権
第3回	著作物を無断で利用できる例外	著作権は無限の権利ではなく、制限されている
第4回	著作権の侵害	著作権が侵害されたときはどうするのか？
第5回	インターネットやソフトウェアをめぐる著作権問題	HPに引用するのは自由か、リンクは自由に貼れるかなど身近に起こるIT環境下での問題点
第6回	著作権法周辺の基礎・情報モラルの問題	知的財産全般の基礎・情報倫理問題
第7回	模擬テスト	模擬テスト(1)
第8回	資格取得試験	模擬テスト(1)解説

学期末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽著作権実務Ⅱ	講義	実	松山 誠

科目概要

「ビジネス著作権検定資格<初級>」の資格取得を目標に、音楽だけにとどまらず、著作権一般の知識の習得を目指します。試験実施は7月最終授業時を予定しています。

講師の実務経験:メジャーレコード会社での著作権業務を皮切りに、仲間らと共に創設したレコード会社を経営、その後、著作権の管理コンサルティング会社を創設、運営し、15年前から当学校にて著作権講師。

到達目標

全員合格を目標とする

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	模擬テスト(2)	模擬テスト(2)
第2回	模擬テスト(2)解説	模擬テスト(2)の解説
第3回	模擬テスト(3)	模擬テスト(3)
第4回	模擬テスト(3)解説	模擬テスト(3)解説
第5回	過去問題(1)	過去問題(1)
第6回	過去問題(1)解説	過去問題(1)の解説
第7回	過去問題(2)	過去問題(2)

クォーター末試験評価方法

レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	過去問題(2)解説	過去問題(2)の解説
第2回	過去問題(3)	過去問題(3)
第3回	過去問題(2)解説	過去問題(3)の解説
第4回	過去問題(4)	過去問題(4)
第5回	過去問題(4)解説	過去問題(4)の解説
第6回	総復習(1)	総復習(1)
第7回	総復習(2)	総復習(2)
第8回	資格取得試験	ビジネス著作権検定 初級試験

学期末試験評価方法

筆記試験により評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽ビジネスにおける法律論Ⅰ	講義	実	城田 晴栄

科目概要

本講座は、国家試験「知的財産管理技能検定3級」の取得を目的とし、合格に必要な知識の教授と検定対策を行います。講義においては、検定対策のみならず、音楽業界において、自らも知財関連業務を手掛ける弁理士でもある講師が、その経験談や音楽業界の「今」、就職に役立つ情報等をちりばめながら、一年間の授業を進行します。受講生は検定受験が必須です。

到達目標

知的財産管理技能検定3級取得を目標とします

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	知的財産権総論	知的財産管理技能士とは。知的財産とは。
第2回	特許法①	特許法
第3回	特許法②	特許法
第4回	特許法③	特許法
第5回	特許法④	特許法
第6回	特許法⑤～実用新案法～	特許法
第7回	特許法⑥～実用新案法～	特許法・実用新案法

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への姿勢

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	意匠法①	意匠法
第2回	意匠法②	意匠法
第3回	商標法①	商標法
第4回	商標法②	商標法
第5回	商標法③	商標法
第6回	不正競争防止法 著作権法①	不正競争防止法 著作権法
第7回	著作権法②	著作権法
第8回	関連法	種苗法・独占禁止法・民法・関連条約等

学期末試験評価方法

出席率、授業への姿勢、筆記試験の場合もあり。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽ビジネスにおける法律論Ⅱ	講義	実	城田 晴栄

科目概要

本試験が近づく10月と11月には、全員合格を目指して特講を設け、試験対策を行います。華やかなエンターテインメントの世界ですが、知的財産の理解なくしてエンターテインメントビジネスは成り立ちません。それだけに、業界では知的財産に強い人材が求められており、本講座ではそのような人材の育成を目指した講義を行ってまいります。

到達目標

知的財産管理技能検定3級取得を目標とします

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3級知的財産管理技能 検定演習と解説①	演習と解説①
第2回	4級知的財産管理技能 検定演習と解説②	演習と解説②
第3回	5級知的財産管理技能 検定演習と解説③	演習と解説③
第4回	6級知的財産管理技能 検定演習と解説④	演習と解説④
第5回	7級知的財産管理技能 検定演習と解説⑤	演習と解説⑤
第6回	8級知的財産管理技能 検定演習と解説⑥	演習と解説⑥
第7回	9級知的財産管理技能 検定演習と解説⑦	演習と解説⑦

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への姿勢

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3級知的財産管理技能 検定演習と解説⑧	演習と解説⑧
第2回	4級知的財産管理技能 検定演習と解説⑨	演習と解説⑨
第3回	5級知的財産管理技能 検定演習と解説⑩	演習と解説⑩
第4回	6級知的財産管理技能 検定演習と解説⑪	演習と解説⑪
第5回	7級知的財産管理技能 検定演習と解説⑫	演習と解説⑫
第6回	8級知的財産管理技能 検定演習と解説⑬	演習と解説⑬
第7回	本試験	3級知的財産管理技能検定 受験
第8回	受験した回の検定試験の解説	3級知的財産管理技能検定

学期末試験評価方法

出席率、授業への姿勢、資格試験の成績による評価。  
※12月以降の授業を、10月、11月の土曜日に、試験対策特別(集中)講座として振り替えます。  
詳細な日程は追って連絡することとなりますので、ご注意ください。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	実用英会話 I	演習	実	岩橋 宣輔

科目概要

英会話ならびに英文法を、音楽的観点から学びます。  
尚、講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

到達目標

英語は難しい勉強であるという心理的なブロックを排し、母国語と同じような仕組みの上になり立っているコミュニケーションツールであるということ、および西洋音楽発展の歴史のうえで極めて密接な関係にあるということを理解する見地を育みます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	科目概要	講師自己紹介ならびにコース説明
第2回	音楽史と西洋言語の関係性概論	教会音楽の樹立からポップミュージックの発展に至るまでの音楽の歴史と、西洋言語の密接な関係性
第3回	SVO基本文型	英語の核となるSVO基本文型(主語・動詞・目的語)とその応用性
第4回	発音(1)	英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
第5回	発音(2)	子音と母音の個別発音演習
第6回	歌唱	詩や楽曲構造の解説の上、英語歌曲の演習
第7回	クォーター末試験	講師と一対一でのインタビュー形式試験

クォーター末試験評価方法

【試験方法】インタビュー試験  
文法的な正しさよりも、コミュニケーションとしての流暢さおよび応用性を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コミュニケーション演習(1)	グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
第2回	コミュニケーション演習(2)	同上。回数を重ねることで徐々に英語のみでのゲームの成立を目指します
第3回	英文法(1)	冠詞および過去形・過去分詞の違い
第4回	英文法(2)	前置詞および句動詞
第5回	総復習	夏期休暇明けのため、第1クォーターを含む学習内容の総復習
第6回	期末試験準備(1)	少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
第7回	期末試験準備(2)	同上。上記楽曲の実技演習
第8回	学期末試験	グループでの英語楽曲歌唱試験

学期末試験評価方法

【試験方法】歌唱試験  
口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	実用英会話Ⅱ	演習	実	岩橋 宣輔

科目概要

英会話ならびに英文法を、音楽的観点から学びます。  
尚、講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

到達目標

春学期に引き続き、英語がコミュニケーションツールとして普遍的なものであり、音楽とも密接な関係性にあることを学んでゆきます。秋学期は春学期から継続しての受講者と新規受講者が混在するため、カリキュラムが大幅に変更される可能性があります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	科目概要	講師自己紹介ならびにコース説明
第2回	音節(1)	英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
第3回	音節(2)	音節の教え方および発音実習
第4回	SVO基本文型	英語の核となるSVO基本文型(主語・動詞・目的語)とその応用性。春学期に引き続き、最重要テーマのため復習します
第5回	履歴書作成(1)	音楽関係者にとって重要なプロフィール文および履歴書を英語で作成
第6回	履歴書作成(2)	同上。上記履歴書に基づく自己PRプレゼンテーション実践
第7回	クォーター末試験	第5回、第6回の授業で作成したプレゼンテーションに基づく個別インタビュー試験

クォーター末試験評価方法

【試験方法】インタビュー試験  
文法的な正しさよりも、コミュニケーションとしての流暢さおよび応用性を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	第1回目の授業テーマ	第1回目の授業内容を50字以内で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。
第2回	クリスマスキャロル歌唱	西洋において重要な音楽文化であるクリスマスキャロルについての説明と歌唱
第3回	総復習	冬期休暇明けのため、第3クォーターを含む学習内容の総復習
第4回	コミュニケーション演習(3)	グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
第5回	コミュニケーション演習(4)	同上。より大人数でのグループ分けによるディスカッション形式でのゲームの成立を目標とします
第6回	期末試験準備(1)	少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
第7回	期末試験準備(2)	同上。上記楽曲の実技演習
第8回	学期末試験	グループでの英語楽曲歌唱試験

学期末試験評価方法

【試験方法】歌唱試験  
口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。  
【評価項目】試験結果20%、平常点30%、出席50%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽ビジネス概論 I	講義	実	國枝康雄

科目概要

この科目では、講師の実務経験(独立・起業)に基づき、会社を起こす(起業する)ことの意味、会社設立、事業計画、戦術を学び、仕事をするということは、どういうことなのか？を学びます。

到達目標

起業後、優れた経営戦略を作るためには何が必要なのかがわかるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	起業とは	会社を起業するとはどういうことか？
第2回	会社とは I	会社設立のメリット
第3回	会社とは II	社長になる意味を知る
第4回	会社とは III	会社をつくるには何が必要？
第5回	会社経営	戦略三角錐を学ぶ
第6回	市場把握 I	マーケットを把握(1)
第7回	中間試験	筆記試験

クォーター末試験評価方法

起業の意義と会社の概要、社会における会社の存在意義など基本を教え、基礎知識問題の理解度で評価。会社設立に大切なものの理解度確認します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	市場把握 II	マーケットを把握(2)
第2回	決算とは	財務諸表を知る(1)
第3回	事業計画とは	財務諸表を知る(2)
第4回	商品とは	商品の魅力を知る
第5回	ビジネスモデルとは	お金のもらいかたを知る
第6回	戦術とは	ビジネスでの「戦い」を知る
第7回	戦略とは	戦略と戦術の違いを知る
第8回	期末試験	筆記試験

学期末試験評価方法

会社を設立して経営していくのに大切なものの理解度を確認。  
 起業を考えてから、会社を経営していくまでの流れをトータル的に理解しているかどうかを試験で確認します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽ビジネス概論Ⅱ	講義	実	國枝康雄

科目概要

この科目では、講師の実務経験(会社の経営マネジメント／アーティスト・マネジメント)に基づき、起業した後に大事な「マネジメント」を、「もしドラ」で身近になったドラッカー理論を使って学び、成果を出せる組織のありかたを学びます。

到達目標

ドラッカー理論で大事なキーワードを学び、それを起業後、実践的に使えるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マネジメントとは	マネージャーの資質とは？
第2回	マーケティングⅠ	真のマーケティングはどこからスタートする？
第3回	マーケティングⅡ	マーケティングとは？
第4回	イノベーションⅠ	成長には何が必要？
第5回	イノベーションⅡ	イノベーションとは？
第6回	トップマネジメント	ひとりではこなしきれない仕事、どうする？
第7回	中間試験	筆記試験

クォーター末試験評価方法

卒業後働く組織のあるべき姿をマネジメント視点で作文。  
学生各々の理想の組織(会社、店舗、他)像を、学んだドラッカー理論を使って表現することにより、マネジメントセンスを磨きます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	成果とは	成果の重要性を知る
第2回	マネジメント総括	セルフマネジメントとは
第3回	ドラッカー理論Ⅰ	なぜ、マネジメントが必要か？
第4回	ドラッカー理論Ⅱ	組織におけるマネジメントの重要性
第5回	ドラッカー理論Ⅲ	「もしドラ」で使われたマネジメントとは？
第6回	ドラッカー理論Ⅳ	強みと弱み
第7回	ドラッカー理論Ⅴ	リーダーシップとは？
第8回	期末試験	筆記試験

学期末試験評価方法

会社の経営におけるマネジメントの重要性を理解しているかどうかを、未来の自分の職場を想像し「もし自分がマネジメントをしたとしたら」というシミュレーション作文を作成してもらいます。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	メディア概論 I	講義	実	有馬知章

科目概要

この科目では、講師の実務経験(マルチメディアコンテンツ制作プロデューサー、Webデザイナー)に基づき、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等毎日の生活で欠かせないメディア、について、その歴史的な背景、技術の発達に寄る変化、新しいメディアの登場、個々のメディア等について解説します。最新のメディアの情報を随時紹介します。

到達目標

生活に欠かせない多くのメディアについてその歴史を理解します。印刷技術から始まるメディアの発展について理解します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メディアとは何か?	日常生活で関わるメディアについて、これから学習内容について説明します
第2回	印刷技術の発明がもたらしたもの	グーテンベルクが発明した活版印刷機について学習します。
第3回	メディア時代の幕開け	19世紀に発達したメディアについて学習します。
第4回	テクノロジーとメディア	20世紀のメディアについて学習します
第5回	メディアと生活	メディアの変化が生活に与える影響について学習します。
第6回	メディアについて考える	自分の関わるメディアについて、情報の受け手、送り手両方の立場から考えます。
第7回	理解の確認	筆記試験またはノート提出

クォーター末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	文字のメディア	新聞、書籍などの文字のメディアについて歴史的に考察します。
第2回	電波のメディア	遠隔地との情報伝達を可能にした電波について学習します。
第3回	電話	家庭に1台の時代から一人一台の時代へ、電話と社会について考えます。
第4回	マルチメディア	80年代後半からはじまった、音楽、文字、動画、写真が共存するマルチメディア、インタラクティブについて学習します。
第5回	ITメディア	インターネットによって変わったこと、始まったことについて学習します。
第6回	音楽のメディア	エジソンの発明以来の音楽のメディアについて考察します。
第7回	情報とコンテンツ	メディアで何を伝えるのか、その内容と手段について考えます。
第8回	理解の確認	筆記試験またはノート提出

学期末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	メディア概論Ⅱ	講義	実	有馬知章

科目概要

この科目では、講師の実務経験(マルチメディアコンテンツ制作プロデューサー、Webデザイナー)に基づき、メディアリテラシーについて、芸術とメディアについて、映像、音楽、文学等の芸術作品にメディアがどのように関わっているのか？日常生活でメディアとどのように関わっているのか？これから先どのように関わっていくか？について。

到達目標

メディアからの情報を自分で判断して取捨できるようになります。自分が発信する情報、コンテンツにメディアを選択する判断力が身につきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メディアはメッセージ？	
第2回	メディアリテラシーⅠ	メディアリテラシーとは何か学習します。
第3回	メディアリテラシーⅠ	メディアリテラシーのいろいろな実例を考察します。テレビ番組など
第4回	缶詰のアート	アンディーウォーホールの作品やポップアートによる、メディアとアートの関わりについて学習します。
第5回	入れ物の無い音楽	音楽配信などのコンテンツ配信について学習します
第6回	メディアとアート	メディアを利用したアートについて、作品を鑑賞します
第7回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

クォーター末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか？欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	思いを伝えるメディア	自分の思いを相手に伝えるメディア メール？電話？
第2回	セピアカラー	感情を伝えるメディアについて
第3回	インターネットのコミュニケーション	SNSなどの新しいコミュニケーションについて
第4回	最新のメディアⅠ	インターネットでの情報の扱い方。検索サイト、サイトの広告、ビッグデータについて。
第5回	最新のメディアⅡ	スマートフォン、電子書籍、CLOUD、IoTについて
第6回	最新のメディアⅢ	Fintecについて学習します。ブロックチェーンの仕組み。仮想通貨について。
第7回	これからのメディア	個人情報の扱いなど現代のメディアの問題点と将来について。
第8回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

学期末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか？欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	イベント企画概論Ⅰ	演習	実	磯田昌宏

科目概要

実際の企業を想定しプレゼンテーション、コンサルテーションも交えて実践的に学んでいく。書籍での学びだけでは掴めない、現場や企業、お客からの意見を総合的に分析していく。若い発想、新しい感覚をイベントに落とし込み、新しいものを提案していく。歴史、社会情勢、世論、SNSなど多角的な視野を養う。この科目は講師の実務経験(企画営業、ライブハウスのブッキング、各種イベント制作)に基づき、運営される。

到達目標

自己満足ではなく俯瞰で捉えたイベント企画が考えられる。  
その企画をもって、企業に刺さるプレゼンができる。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	
第2回	イベント理解①	イベントを知り、ビジネスの隙間をさがし、アイデアに繋げる
第3回	イベント理解②	イベントを知り、ビジネスの隙間をさがし、アイデアに繋げる
第4回	プレスト	イベント案件についてリサーチ
第5回	プレスト	イベント案件についてリサーチ
第6回	まとめ	企画提案内容を纏める
第7回	1Q末試験	限られた時間で複数のアイデアを提出

クォーター末試験評価方法

平常点、課題提出、欠席点、末試験

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	プレスト	案件について、更に考えを深める
第2回	プレスト	案件について、更に考えを深める
第3回	提案書作成	イベント、ビジネスモデル・事業計画、起業への提案書の作成
第4回	提案書作成	イベント、ビジネスモデル・事業計画、起業への提案書の作成
第5回	提案書作成	イベント、ビジネスモデル・事業計画、起業への提案書の作成
第6回	プレゼン事例	プレゼンコンテストでの実例学び、刺さるプレゼンテーションを知る
第7回	プレゼン①	プレゼンテーションを行い評価
第8回	プレゼン②	プレゼンテーションを行い評価

学期末試験評価方法

プレゼンの評価。出席点、欠席点

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	イベント企画概論Ⅱ	演習	実	磯田昌宏

科目概要

春学期の成果を踏まえ、企業にイベント企画を提案をする。  
 提案には具体的なビジネスプラン用いて利益が出せるところまでを考える。  
 この科目は講師の実務経験(企画営業、ライブハウスのブッキング、各種イベント制作)に基づき、運営される。

到達目標

現実的なイベントを企画し、ビジネスとして成立させるところまでをイメージした提案ができる

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フィードバック①	課題を洗い出し、整理
第2回	企画提案のプレスト	企画提案案件についてリサーチ、協賛企業
第3回	企画提案のプレスト	企画提案案件についてリサーチ、協賛企業
第4回	提案書作成	イベントビジネスモデル、事業計画案、プレゼン資料
第5回	提案書作成	イベントビジネスモデル、事業計画案、プレゼン資料
第6回	プレゼン①	プレゼンテーション
第7回	プレゼン②	プレゼンテーション

クォーター末試験評価方法

平常点、課題提出、欠席点

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フィードバック①	課題を洗い出し、整理
第2回	企画提案のプレスト	企画提案案件についてリサーチ、協賛企業
第3回	企画提案のプレスト	企画提案案件についてリサーチ、協賛企業
第4回	提案書作成	イベントビジネスモデル、事業計画案、プレゼン資料
第5回	提案書作成	イベントビジネスモデル、事業計画案、プレゼン資料
第6回	プレゼン①	プレゼンテーション
第7回	プレゼン②	プレゼンテーション
第8回	評価と纏め	企業評価・科目評価

学期末試験評価方法

プレゼンの評価。出席点、欠席点

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	西洋音楽様式特論 I	講義	実	佐藤昌弘

科目概要

この科目では、講師の実務経験(音楽史に関する諸著作、作曲、音楽理論、音楽史の教授活動など)に基づき、グレゴリオ聖歌からに古典派にいたるまでの西洋音楽について、各時代でどのような音楽様式が生まれ、発展し、後の時代に影響を及ぼしたかについて学びます。

到達目標

音楽を志す者にとって必要とされる、西洋の音楽史とその各時代の音楽様式について基礎知識、基本的理解力を身に付けます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	授業概要を説明します。
第2回	グレゴリオ聖歌	西洋音楽のルーツについて概説します。
第3回	中世の声楽曲	多声部化するグレゴリオ聖歌について概説します。
第4回	ルネサンスの声楽曲	ギヨーム・デュファイ、ジョスカン・デ・プレなどの声楽曲を例に、ポリフォニー様式について概説します。
第5回	パレストリーナの音楽	ポリフォニー様式の完成形であるパレストリーナの音楽について概説します。
第6回	ルネサンスとバロック初期の器楽	リュート、チェンバロの音楽を概説します。
第7回	1クォーター総括	中世からルネサンスまでの音楽様式と、バロック初期までの器楽音楽を総括します。

クォーター末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	バロックオペラ	モンテヴェルディなどの作品を中心に、バロックオペラの様式を概説します。
第2回	J.S.バッハ①	ブランデンブルク協奏曲や組曲作品など、バロック協奏曲と古典組曲の音楽様式を概説します。
第3回	J.S.バッハ②	カンタータやマタイ受難曲など、バッハの声楽曲について概説します。
第4回	J.S.バッハ③	平均律クラヴィーア曲集を対象に、フーガについて概説します。
第5回	古典派の音楽様式	ソナタ形式、弦楽四重奏曲、交響曲について概説します。
第6回	モーツァルトの音楽	協奏曲、声楽曲、オペラを中心に、モーツァルトの作品について概説します。
第7回	ベートーヴェンの交響曲	ベートーヴェンの9曲の交響曲を概説します。
第8回	2クォーター総括	バロックから古典派までの音楽様式を総括します。

学期末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	西洋音楽様式特論Ⅱ	講義	実	佐藤昌弘

科目概要

この科目では、講師の実務経験(音楽史に関する諸著作、作曲、音楽理論、音楽史の教授活動など)に基づき、ロマン派からに現代にいたるまでの西洋音楽について、各時代でどのような音楽様式が生まれ、発展し、後の時代に影響を及ぼしたかについて学びます。

到達目標

音楽を志す者にとって必要とされる、西洋の音楽史とその各時代の音楽様式について基礎知識、基本的理解力を身に付けます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロマン派①	ベルリオーズの《幻想交響曲》について概説します。
第2回	ロマン派②	シューベルトとメンデルスゾーンの音楽について概説します。
第3回	ロマン派③	ショパンとシューマンの音楽について概説します。
第4回	ロマン派④	リストとワーグナーの音楽について概説します。
第5回	ロマン派⑤	ブラームスの音楽について概説します。
第6回	ロマン派⑥	チャイコフスキーの音楽について概説します。
第7回	3クォーター総括	19世紀ロマン派音楽について概説します。

クォーター末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	後期ロマン派①	マーラーの交響曲について概説します。
第2回	後期ロマン派②	リヒャルト・シュトラウスの交響詩と歌曲について概説します。
第3回	後期ロマン派③	リヒャルト・シュトラウスのオペラについて概説します。
第4回	後期ロマン派④	ラフマニノフの音楽について概説します。
第5回	近代①	ドビュッシーとラヴェルの音楽について概説します。
第6回	近代②	ストラヴィンスキーのパレエ音楽《春の祭典》について概説します。
第7回	近代③・現代	12音技法と1945年以降の現代曲について概説します。
第8回	4クォーター総括	20世紀の西洋音楽を総括します。

学期末試験評価方法

授業に対する参加姿勢と試験結果を照合して総合的に評価します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	ポピュラー音楽様式研究 I	講義	実	樺山潤一郎

科目概要

この科目では、講師の実務経験(鍵盤楽器演奏及び作曲/編曲の経験)に基づき、個々の作編曲経験ある無しを問わずなんとなく知っているポピュラー音楽を、通常の音楽理論とLLC(リディアンクロマティックコンセプト)の観点から掘り下げていきます。難しい言葉が出てきますが出来る限り分かり易く説明します。

到達目標

ただ譜面を演奏するだけでなく、自分が何をやっているのかを少しでも理解したい、基礎知識はあるが今ひとつポップスやジャズがよくわからない、という人に満足してもらえるコースにしたいと思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードスケールとテンションについて	コードとぶつからないメロディーや即興演奏などに欠かせないコードスケール、そしてテンションについて学習
第2回	テンションを含むコードワーク①	ピアノやキーボードの伴奏アレンジで使われる最も基本的なコードボイスイングについて学習
第3回	テンションを含むコードワーク②	ジャズピアノの基本である「スプレッドボイスイング」で力強いコードボイスイングを作る
第4回	テンションを含むコードワーク③	主にジャズで使われる、ベースを含まずテンションをフィーチャーしたコードボイスイングについて学習
第5回	コードワーク実践編	ビートルズの「Yesterday」のコードでテンションをどう付けるか考える
第6回	4 Way Close Voicing	メロディー全てを4声にし、これをコードボイスイング・テクニクとしてトライしてみる
第7回	クォーター末試験	トップノートからのコードボイスイング

クォーター末試験評価方法

評価基準: 出席50%、平常点25%、試験25%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	LLC①	リディアンクロマティックコンセプトとは何か アンバランスト・インターヴァルとジョージラッセルの考え方
第2回	LLC②	前回の続きから、実験的に作曲に活用してみる より自由な発想でライティングする
第3回	モードについて	厳密な意味でのモードとポピュラー音楽で使われるモーダルインターチェンジについて
第4回	モードの曲作り	それぞれのモードでメロディーとコードを書く練習
第5回	より自由な作曲技法①	ポピュラー音楽に於けるより自由な作曲テクニクの紹介と有名映画音楽の研究
第6回	より自由な作曲技法②	ホリゾンタルな調性引力(フラット)を考えた作曲技法の研究
第7回	総復習とまとめ	与えられた条件から選び4~8小節の作曲(メロディーとコード)
第8回	クォーター末試験	前回到続き、無条件での自由な作曲(メロディーとコード)

学期末試験評価方法

評価基準: 出席50%、平常点25%、試験25%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	ポピュラー音楽様式研究Ⅱ	講義	実	樺山潤一郎

科目概要

この科目では、講師の実務経験(鍵盤楽器演奏及び作曲/編曲の経験)に基づき、後期ではテンションとコードスケール、目的別ボイシング方法、モードの本来の意味などについて解説し、より自由な作曲技法を学習する。

到達目標

本授業の内容上ある程度の基礎知識が要求されますが、あまり従来の法則や知識にとらわれず自由にオリジナル曲やアレンジが出来るようになれば幸いである。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードスケールとテンションについて	コードとぶつからないメロディや即興演奏やなどに欠かせないコード・スケール、そしてテンションについてです
第2回	テンションを含むコードワーク 1	キーボードや伴奏のアレンジで使われる最も基本的なコード・ボイシングについてです
第3回	テンションを含むコードワーク 2	一般に「スプレッド・ボイシング」と呼ばれている、ベースを含む力強いサウンドを作るコード・ボイシングです。
第4回	テンションを含むコードワーク 3	主にジャズなどで使われる、ベースを含まずにテンションをフィーチャーしたコード・ボイシングについてです。
第5回	コードワーク・実践編	ビートルズのヒット曲「Yesterday」を使ってテンションを含まない/含むボイシングの練習をします。
第6回	4 Way Close Voicing	これもコード・ボイシング・テクニックの一つですが、なんとメロディすべての音を4声でハモリます。
第7回	テスト	トップ・ノートがあらかじめ与えられたいくつかのコードを条件に合わせてボイシングします。

クォーター末試験評価方法

採点基準は授業の理解度を重視して試験が80%、そして出席が20%となっています。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	LCC概説・前半	調性に対してユニークな発想を持つリディアン・クロマティック・コンセプトについて、まず基本的な考え方を勉強します。
第2回	LCC概説・後半	前回の続きで、復習も含めてより具体的な例を見ながら更にLCCの根本的考え方を説明します。
第3回	モードについて	厳密な意味でのモードとポピュラー音楽などで使われるモーダル・インターチェンジについてです。
第4回	モードの曲作り	前回到引き続き、それぞれのモードでメロディとコードを書く練習です。
第5回	より自由な作曲技法 1	ポピュラー音楽におけるより自由な作曲テクニックの紹介です。いろんなジャンルの参考曲を視聴します。
第6回	より自由な作曲技法 2	最終課題の説明と水平な調性引力(フラット方向)を考えた作曲技法の紹介です。
第7回	総復習と曲のアナライズ	課題の説明と参考曲のアナライズです。
第8回	テスト	与えられた4つの条件から一つを選んで8~16小節程度の曲(メロディとコード)を作ります。

学期末試験評価方法

採点基準は授業の理解度を重視して試験が80%、そして出席が20%となっています。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	JAZZ研究 I	講義	実	熱田公紀

科目概要

20世紀初頭から始まったジャズの歴史を、それぞれのジャンルを代表するアーティストの音源を聴きながら巡ってゆく授業です。前期はラグタイムに始まり、スウィングを経てハイライトであるビバップまでを音源と映像で振り返ります。また、前・後期1回ずつ“私の一枚”と題して一人ずつ発表してもらいます。自分自身の“お気に入り”の音源を用意してください。

尚、講師はTV、CMなどの作・編曲。私自身が主催するBig Band(Y'Mex)の作・編曲、指揮。ヤマハ音楽振興への楽曲提供。ピアニストとして多くの演奏会やライブハウスでの演奏などの実務経験を持ちます。

到達目標

ジャズという音楽を通して、その豊かな音楽性や、プレイヤーの熱気などを音源を聴きながら体感します。又、スウィングなどのそれぞれのジャンルの生まれた時代背景などにも目を向け、理解を深めていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	1年間の講義の説明
第2回	ジャズの発祥/ニューオーリンズとクレオール、ラグタイム	S.ジョップリン、ジェリー・ロール・モートンなどの音源を聴く。
第3回	シカゴ・ジャズの時代/ローリングトウエンティーズ～ハーレム・ルネッサンス	K.オリバー、L.アームストロングの音源を聴く。 ”ジャズの歴史”(DVD)前半(45分)を鑑賞。
第4回	ブキウギ・スウィング/カンザスシティ・ジャズとビッグバンドエイジ	A.ショウ、D.エリントン、G.ミラー、B.グッドマン、C.ペイシー、A.テイタムの音源を聴く。
第5回	バップ(ビバップの誕生)	C.クリスチャン、C.パーカー、B.パウエル、D.ガレスピー、S.ケントン、C.ホーキンスの音源を聴く。
第6回	アフロ・キューバン・ジャズ/クール・ジャズ	S.マルティネス、D.ガレスピー、K.ドーハム、M.ディヴィス、L.トリスターノの音源を聴く。
第7回	ウエスト・コースト・ジャズとイースト・コースト・ジャズ	C.ベッカー、A.ベツパー、S.マン、H.シルヴァー、M.ジャクソン、S.ロリンズ、P.チェンパーズの音源を聴く。

クォーター末試験評価方法

出席(80%)、平常点(20%)

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4ビート・ジャズとハード・バップ	M.ディヴィス、C.ブラウン、J.コルトレーン、S.クラーク、T.モンク、J.J.ジョンソンの音源を聴く。
第2回	まとめ(前半の)	”ジャズの歴史”(DVD)を鑑賞(90分)
第3回	私の一枚 Vol.1	学生の発表
第4回	私の一枚 Vol.2	学生の発表
第5回	私の一枚 Vol.3	学生の発表
第6回	私の一枚 Vol.4	学生の発表
第7回	私の一枚 Vol.5	学生の発表
第8回	私の一枚 Vol.6	学生の発表

学期末試験評価方法

出席(60%)、平常点(20%)、私の一枚発表内容(20%)

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	JAZZ研究Ⅱ	講義	実	熱田公紀

科目概要

後期では、1950.60のジャズの黄金期(ファンキー・ジャズ)を経て、フリー・ジャズ、クロスオーバー(フュージョン)、新伝承派ジャズと目まぐるしく様変わりするジャズの歴史を音源を映像で巡ります。今日のポピュラー音楽の礎を築いたジャズの歴史を伝えていきます。  
尚、講師はTV、CMなどの作・編曲。私自身が主催するBig Band(Y'Mex)の作・編曲、指揮。ヤマハ音楽振興への楽曲提供。ピアニストとして多くの演奏会やライブハウスでの演奏などの実務経験を持ちます。

到達目標

さらに秋学期では、現在までのジャズの100年の歴史を俯瞰し、それぞれの時代の特徴を理解していきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ニューポート・ジャズ・フェスとファイティング・ニグロ	C.ミンガス、M.ローチ、K.クラーク、H.シルヴァーの音源を聴く。
第2回	ファンキー・ジャズ	W.ケリー、C.フラー、C.アダレイ、A.ブレイキー、L.モーガンの音源を聴く。
第3回	サード・ストリーム(第3の流れ)ノモード・ジャズ	J.ルイス、M.デイヴィスの音源を聴く。
第4回	フリージャズ Vol.1	J.コルトレーン、O.コールマンの音源を聴く。
第5回	フリージャズ Vol.2	A.アイラー、S.テイラー、D.チェリー、E.ドルフィーの音源を聴く。
第6回	ジャズの10月革命ノジャズ・ロックノボサノヴァの流行ノクロスオーバー	C.ブレイ、D.チェリー、M.デイヴィス、S.ゲッツの音源を聴く。
第7回	クロスオーバーとフュージョン	J.マクラフリン、G.バルビエリ、クルセダース、C.コリア、ウェザー・リポート、ヘッドハンターズの音源を聴く。

クォーター末試験評価方法

出席(80%)、平常点(20%)

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ポスト・フリーノウイントン・マルサリスの出現の意味	アート・アンサンブル・オブ・シカゴ、B.マルサリス、Q.ジョーンズ、R.グラスパーの音源を聴く。
第2回	まとめ(一年間の)	“ジャズの歴史”(DVD)を鑑賞(90分)
第3回	私の一枚 Vol.1	学生の発表
第4回	私の一枚 Vol.2	学生の発表
第5回	私の一枚 Vol.3	学生の発表
第6回	私の一枚 Vol.4	学生の発表
第7回	私の一枚 Vol.5	学生の発表
第8回	私の一枚 Vol.6	学生の発表

学期末試験評価方法

出席(60%)、平常点(20%)、私の一枚発表内容(20%)

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分	担当講師
春	日本のA&R史 I	講義	佐伯 進

科目概要

1960年代初頭にアメリカのコンテンポラリー・フォークが日本に入ってきてから、日本にもフォーク・ムーブメントが起こった。始めは大学生たちがコピーを始め、やがてオリジナル曲が生まれた。そして吉田拓郎が出現してブームとなり、ミュージックシーンの大きな流れとなる。ニューミュージックがビジネスとなるまでのプロセスを学ぶ。

到達目標

生れる前のミュージックシーン全体の大きな流れを読み解く。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アメリカン・コンテンポラリー・フォーク	キングストン・トリオがもたらしたもの
第2回	カレッジ・フォーク	関東の学生たちがコピーを始める
第3回	関西フォーク	高石ともや、岡林信康がオリジナルを作り始める
第4回	フォーク・ムーブメント	吉田拓郎の出現でブームが始まる
第5回	叙情派フォーク	かぐや姫、井上陽水などがヒットをとばす
第6回	黄金のフォーク・ブーム	山本コータローとウィークエンド、グレープ、ふきのとうなど
第7回	理解の確認 レポート提出	カレッジ・フォーク、関西フォーク、フォーク・ブームの総括

クォーター末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	変革期①	フォーライフ・レコード設立
第2回	変革期②	つま恋6万人コンサート
第3回	ニューミュージック	ユーマンの台頭
第4回	ニューミュージック第3世代	原田真二、Char、ツイスト、渡辺真知子など
第5回	歌の甲子園“ポップコン”	中島みゆきなどポップコン全盛期
第6回	叙情派フォーク復活	松山千春、長渕剛の台頭
第7回	CMとニューミュージック	CMタイアップからヒット連発
第8回	理解の確認 レポート提出	フォークからニューミュージックへという大きな流れの再確認

学期末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分	担当講師
秋	日本のA&R史Ⅱ	講義	佐伯 進

科目概要

ニューミュージックとなりミュージック・ビジネスの主流の一角を占めるようになる。80年代に入って、ポップス・ブーム、バンド・ブームを経て、90年代に入るとさらに歌のルネッサンスが起こり、やがてR&B、ダンスミュージック・ブームとなる。そして、テクノ、ヒップホップ、あらゆるジャンルがそろう百花繚乱となって現在に至っている。

到達目標

A&R史を学び、目まぐるしく変化するこれからのミュージックシーンの、今後の展開を考えることが出来る

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ニュー・ウェーブ	RCサクセッション、シーナ&ロケット台頭
第2回	テクノ・ポップ	YMOの台頭からテクノ・ブーム
第3回	第3期女性シンガー・ブーム	歌心を大切にしようという流れ
第4回	女性ロッカー	白井貴子、中村あゆみ、渡辺美里の台頭
第5回	レディース・バンド	レベッカ、プリンセス・プリンセスなど
第6回	バンド・ブーム	BOØWYをきっかけに空前のバンド・ブームに
第7回	理解の確認 レポート提出	ニュー・ウェーブ、テクノ・ポップ・ブームから本格的なロック時代へ

クォーター末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	歌のルネッサンス	KAN「愛は勝つ」から流れが変わる
第2回	歌もの復活	小田和正「ラブ・ストーリーは突然に」、CHAGE&ASKA「SAY YES」大ヒット
第3回	ビーイング系ブーム	ZARD、WANDSなどヒット連発
第4回	小室系ブーム	TRF、安室奈美恵、華原朋美などブレイク
第5回	ジャパニーズR&Bブーム	MISIA、宇多田ヒカル、平井賢など台頭
第6回	ダンス・ミュージック・ブーム	エイベックス系アーティストの台頭
第7回	Jヒップホップ・ブーム	空前のヒップホップ・ブーム到来
第8回	理解の確認 レポート提出	あらゆるジャンルが出つくした感のあるミュージック・シーンの今後の展開は？

学期末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	世界のA&R史 I	講義	実	渡辺博

科目概要

イギリスからアメリカへと渡った民謡をもとに、世界のポピュラーソングが生まれた。時代や世相によって変わっていく音楽。歌詞と曲、歌手の三面で解説を進めていきます。春学期はイギリス民謡からロックンロールの誕生まで。尚、講師はメジャーレコード会社2社(ポニーキャニオン、バップ)で30年以上制作ディレクターとして多数のアーティストを担当し、音楽制作部長として管理職を務めた実務経験を持ちます。

到達目標

音楽制作者にとって必要なルーツミュージックの歴史的な深い音楽的知識を身につけてもらいます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーションと学生の自己紹介	講師と学生全員の自己紹介。本授業の今後の内容、および評価についての説明。
第2回	スコットランドとアイルランド、そしてイングランド#1	ポピュラーソングの原点であるスコットランドとアイルランド民謡さらにイングランド民謡を学びます。「Danny Boy」ほか。
第3回	スコットランドとアイルランド、そしてイングランド#2	ポピュラーソングの原点であるスコットランドとアイルランド民謡さらにイングランド民謡を学びます。「Auld Lang Syne」ほか。
第4回	英国からアメリカ大陸へ	アメリカン・ミュージックのルーツとその時代背景を学びます。「Barbara Allen」ほか。
第5回	アメリカン・ミュージックの成立	アメリカン・ミュージックのルーツとその時代背景を学びます。フォークソング、カントリーミュージックの魅力って? 「500miles」ほか。
第6回	もうひとつのアメリカン・ミュージック	ジャズの誕生とポピュラーソングの発展。「Moon River」ほか。
第7回	テスト	筆記試験。

クォーター末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロックンロールの誕生	ロックンロールが世界を変えた。その楽曲は? アーティストは? Elvis Presleyほか。
第2回	POPS、FOLK、SOULへの新展開#1	50'sから60'sのPOPSを知る。Carol Kingほか。
第3回	POPS、FOLK、SOULへの新展開#2	50'sから60'sのFOLKを知る。#1 「天使のハンマー」ほか。
第4回	POPS、FOLK、SOULへの新展開#3	50'sから60'sのFOLKを知る。#2 「花はどこへ行った」ほか。
第5回	POPS、FOLK、SOULへの新展開#4	50'sから60'sのSOULを知る。#1 James Brownほか。
第6回	POPS、FOLK、SOULへの新展開#5	50'sから60'sのSOULを知る。#2 Sam Cookeほか。
第7回	マーギー・ビート~ビートルズの登場#1	ビートルズが生まれた音楽的背景と時代背景を解説します。The Holliesほか。
第8回	テスト	筆記試験。

学期末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	世界のA&R史Ⅱ	講義	実	渡辺博

科目概要

秋学期はイギリスとアメリカのポップミュージックの変遷。ビートルズの登場、そしてボブ・ディランの登場。ロックがどうやって生まれたのか。1970年代以降のポップミュージックの多様性を、音と映像によって検証していきます。尚、講師はメジャーレコード会社2社(ポニーキャニオン、バップ)で30年以上制作ディレクターとして多数のアーティストを担当し、音楽制作部長として管理職を務めた実務経験を持ちます。

到達目標

ビートルズ以降、多様化し、進化してきたポップスやロックを体感し、音楽制作に携わるために必要な幅広い音楽知識を身につけてもらいます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マージー・ビート～ビートルズの登場#2	ビートルズが生まれた音楽的背景と時代背景。「Please Please Me」ほか。
第2回	はじまりのうた#1	ジョン・カーニー監督による音楽映画を通じ、プロデューサーとは？を学びます。
第3回	はじまりのうた#2	ジョン・カーニー監督による音楽映画を通じ、プロデューサーとは？を学びます。
第4回	プリティッシュ・インベイジョン#1	イギリスのロックがアメリカに大きな影響を与えた、その詳細を体感します。ソウル・ミュージック編。マービン・ゲイほか。
第5回	プリティッシュ・インベイジョン#2	イギリスのロックがアメリカに大きな影響を与えた、その詳細を体感します。フォーク、アメリカン・ロック編。ボブ・ディランほか。
第6回	ロックの時代へ#1	フラワー・ムーブメントと呼ばれる時代…どのような音楽が生まれたのか？The Beach Boysほか。
第7回	ロックの時代へ#2	ウッドストックの野外イベントの成功とその後のミュージック・シーンに与えた影響は？ジミヘンほか。
クォーター末試験評価方法		
出席率50%、授業態度50%		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ポスト・ビートルズのイギリス#1	70'sのイギリスのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？#1 Queenほか。
第2回	ポスト・ビートルズのイギリス#2	70'sのイギリスのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？#2 Pink Floydほか。
第3回	ポスト・ビートルズのアメリカ#1	70'sのアメリカのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ウエスト・コースト編 The Eaglesほか。
第4回	ポスト・ビートルズのアメリカ#2	70'sのアメリカのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？イースト・コースト編 Billy Joelほか。
第5回	ユーロ・ミュージックの歴史	イタリア、フランス、北欧のポップスの歴史を学びます。ABBA、ミッシェル・ポルナレフなど。
第6回	ローリング・ストーン誌が選ぶ世界で最も偉大なアーティスト100#1	授業の総まとめ。トップ20に名を連ねるアーティストは誰？
第7回	ローリング・ストーン誌が選ぶ世界で最も偉大なアーティスト100#2	授業の総まとめ。トップ20に名を連ねるアーティストは誰？
第8回	テスト	筆記試験。
学期末試験評価方法		
出席率15%、授業態度15%、試験70%		

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春／秋	映画音楽研究	講義	実	山本 正壽

科目概要

映画音楽は映像による演出を助けさらにその表現効果を増すことが可能です。音楽作家は様々な語法や手法を使用または新たに考案し作曲しています。授業はその作曲家の取組みについて分析を行います。映像素材は随時変更する予定です。この科目では、講師の実務経験(作曲家、編曲家)に基づき担当をします。

到達目標

この授業ではあらゆる音楽を並列に扱う表現形態としてその表現方法を分析していきます。何気ない音や音楽の意味についてアーティストやクリエイターの立場になる人に理解をしてもらいそれぞれの表現に結びつきまたはヒントになることを期待しています。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	映画音楽の構成と主題法	モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」1
第2回	映画に使われる音	松本晃彦「踊る大捜査線 THE MOVIE」
第3回	主題とストーリー映像と音楽のシンクロ	モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」2
第4回	主題と素材1 5W1H	セラ「フィフス・エレメント」1
第5回	主題と素材2 未来を題材にした映画	セラ「フィフス・エレメント」2
第6回	音のリアリティー音と音楽のシンクロ	セラ「グラン・ブルー」
第7回	レポートの体裁と項目	セメスター末のレポート(論文)提出に向けた指導

クォーター末試験評価方法

レポート40%、平常点60%  
セメスター末にレポートする映画について、分析を行う項目を抽出しレポートとして提出

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	劇中音楽とBGM1	モリコーネ「海の上のピアニスト」1
第2回	劇中音楽とBGM2	モリコーネ「海の上のピアニスト」2
第3回	メシアンとナイマン具体音と音楽	ナイマン「ピアノ・レッスン」
第4回	イメージの共有と素材の抽出	坂本龍一「戦場のメリークリスマス」1
第5回	モードとコード 新しい語法の創出	坂本龍一「戦場のメリークリスマス」2
第6回	オーケストレーションとサウンドの特色	ウィリアムズ「スターウォーズIV」1
第7回	主題とストーリーと音楽	ウィリアムズ「スターウォーズIV」2
第8回	レポートの体裁と項目	レポート(論文)提出に向けた指導

学期末試験評価方法

レポート80%、平常点20%  
レポート: 音楽作家の表現方法について様々な角度からレポートする  
体裁: レポート(A4)枚数自由

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春/秋	邦楽研究	講義	実	山本華子

科目概要

日本の音楽が様々な時代や社会を背景とした文化の中でどのように位置づけられてきたか、変化してきたか、また変化していくかを考えます。具体的には雅楽、声明、能、三曲、文楽、歌舞伎などを鑑賞しながら、グローバルな視点に立って日本の音楽について考察します。尚、講師は民族音楽の公演・講座・ワークショップなどの企画・運営・コーディネートの実務経験を持ち、海外の研究者との共同研究も行っています。

到達目標

時代ごとに日本の音楽がどのように変遷してきたかを理解できるようになり、日本の音楽の特徴を掴んでその魅力を感じられるようになることを目指します。さらに、日本の音楽とその精神性とは、日本人の求めてきた音楽美とはどのようなものかということ考察していきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日本の音楽ダイジェスト	日本の代表的な伝統芸能・伝統音楽の鑑賞を通して、全体的な授業内容のイメージを掴めるようにします。
第2回	古代日本の音楽	日本音楽の曙として、縄文・弥生時代などの古代日本の音楽文化はどうか考察します。
第3回	雅楽と大陸の音楽	大陸の音楽の受容と変容、正倉院の楽器などについて、音楽史的な観点から雅楽を捉えます。
第4回	雅楽の日本化	雅楽が日本化され、現在まで伝承されてきた基本的な構造と系統を学びます。
第5回	声明	成立背景、記譜法、形式など、基本的なことを理解した上で、宗派の違う声明を鑑賞します。
第6回	能と舞台空間	能の技法と構造として、舞台・音楽・衣装・演出について学んだ上で、能の作品鑑賞を行います。
第7回	劇の中の笑い	狂言の作品鑑賞を行い、1クォーターのテーマによる期末レポートを提出します。

クォーター末試験評価方法

試験評価は、授業への参加度60%(毎回提出するミニレポートの内容と授業への積極的な取り組み)、期末レポート40%で行います。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	箏音楽	箏音楽の始まりと展開を音楽史的に捉え、楽器の特徴と種類を理解します。
第2回	琵琶音楽	古代から現代までの琵琶の伝承の流れを概観し、楽器の特徴と種類を理解します。
第3回	三味線音楽	三味線の伝来、楽器の特徴と種類を知り、それぞれの三味線音楽を鑑賞します。
第4回	尺八音楽	尺八音楽の歴史、楽器の特徴と種類を理解した上で、尺八の独奏・三曲合奏を鑑賞します。
第5回	文楽と語り物	文楽の技法と構造として、舞台・音楽・人形の構造を学んだ上で、文楽の作品鑑賞を行います。
第6回	歌舞伎の魅力①	歌舞伎の技法と構造として、舞台・音楽・衣装・演出について学びます。
第7回	歌舞伎の魅力②	時代物と世話物から、それぞれ異なった魅力の歌舞伎作品を鑑賞します。
第8回	現代の邦楽	現代の邦楽を多角的に捉え、2クォーターのテーマによる期末レポートを提出します。

学期末試験評価方法

試験評価は、授業への参加度60%(毎回提出するミニレポートの内容と授業への積極的な取り組み)、期末レポート40%で行います。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春/秋	民族音楽研究	講義	実	山本華子

科目概要

世界の諸民族の音楽を現代の視点から見直し、それぞれの音楽文化の展開について考えます。音楽学の研究・方法論に基づき、音楽の背景にある様々な要素にも注目しながら、グローバルな視点に立って諸民族の音楽とはどのようなものか考察します。尚、講師は民族音楽の公演・講座・ワークショップなどの企画・運営・コーディネートの実務経験を持ち、海外の研究者との共同研究も行っています。

到達目標

毎回の授業では視聴覚資料によって諸民族の音楽の実例に触れ、地域・民族ごとの音楽の違いを把握できるようにします。さらに、今日私たちが耳にする様々な音楽との比較を試みながら、音楽とは何か考えるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	世界の音楽ダイジェスト	世界の多様な音楽の鑑賞を通して、全体的な授業内容のイメージを掴めるようにします。
第2回	世界音楽の視点	世界音楽とはどのようなものか、アプローチ法、様々な視点などを概観します。
第3回	ヨーロッパ	ヨーロッパの伝統音楽の地域ごとの特徴、クラシック音楽と伝統音楽の融合などについて理解を深めます。
第4回	アフリカ	アフリカの太鼓にまつわる文化、楽器と身体との関わりについて考えます。
第5回	アメリカ	先住民・ヨーロッパ系・アフリカ系に分けて、北・中央・南アメリカの音楽を捉えます。
第6回	西アジア・中央アジア	イスラム世界の音楽という括りから、音楽・音楽家のあり方について理解します。
第7回	南アジア	インド音楽を中心に鑑賞し、1クォーターのテーマによる期末レポートを提出します。

クォーター末試験評価方法

試験評価は、授業への参加度60%(毎回提出するミニレポートの内容と授業への積極的な取り組み)、期末レポート40%で行います。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	東南アジア①	東南アジアの文化的背景と音楽を学び、インドネシアのガムラン音楽に焦点を当てます。
第2回	東南アジア②	フィリピン、ベトナム、タイ、ミャンマーなどの楽器と音楽、劇、舞踊について学びます。
第3回	オセアニア	ミクロネシア・メラネシア・ポリネシア・アボリジニの音楽芸能を文化的背景とともに捉えます。
第4回	東アジア①	東アジアの文化的背景を概観し、現代中国の音楽(漢民族と少数民族)を鑑賞します。
第5回	東アジア②	モンゴルの音楽風景を学んだ上で、代表的な楽器と声の文化を味わいます。
第6回	東アジア③	朝鮮半島の伝統音楽として、韓国の国楽を宮廷音楽、民俗音楽に分けてアプローチします。
第7回	概論(伝播・伝承)	諸民族の音楽の伝わり方、伝え方を、具体例を通して概観しながら考えます。
第8回	ワールドミュージック	様々なワールドミュージックを鑑賞し、2クォーターのテーマによる期末レポートを提出します。

学期末試験評価方法

試験評価は、授業への参加度60%(毎回提出するミニレポートの内容と授業への積極的な取り組み)、期末レポート40%で行います。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	音楽社会文化研究 I	講義	実	有馬知章

科目概要
この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー、マルチメディア・プロデューサー)に基づき音楽と社会の関わりについて考察します。世界史の中で音楽がどのように発展してきたかを見つめ直します。音楽史と世界史を同じ時間軸で考えます。特にR&R、ジャズ、ブルース等現代の音楽の元になっている音楽のルーツと世界の関係を研究します。
到達目標
ブルースから現代の音楽まで発展してきた経緯、社会の出来事とのつながりを理解します。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	何を学ぶのか？1クォーターに学習する内容について説明します。90年代、80年代の音楽と過去のつながりを聴いてみます。
第2回	80's 90'sの音楽と社会	MTV、第二次ブリティッシュインヴェイジョンについて研究します。
第3回	70'sの音楽と社会	70年代のロック、フュージョン、ダンス音楽と社会現象を研究します。
第4回	ロックと映画	70年代、80年代の映画と音楽について研究します
第5回	60'の音楽と社会現象	サマー・オブ・ラブとヒッピー文化について、研究します。ビートルズの影響について研究します。
第6回	50'の音楽 ロックンロールの登場	ビートルが影響を受けたアメリカのロックンロールについて研究します。
第7回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出
クォーター末試験評価方法		
授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ブルース元年	ブルースの歴史と社会について研究します。
第2回	ジャズ	ニューオーリンズで始まったジャズがシカゴへ移り全米へ広がった時代について研究します。
第3回	ジャズエイジ	禁酒法時代のシカゴのジャズ、第二次大戦後のビバップ、について研究します。
第4回	スウィート・ソウル・ミュージック	ソウルミュージックの歴史とレコードレーベルについて研究します。
第5回	ルーツ	キューバ、アメリカの奴隷貿易と音楽文化について研究します。
第6回	カントリーミュージック	ケルト系ヨーロッパからの音楽の影響とアメリカ人の心を歌うと言われているカントリーミュージックについて研究します。
第7回	音楽市場の原点	1955年以前のアメリカのヒット曲について研究します。
第8回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出
学期末試験評価方法		
授業の指示を守っているか、内容を理解しているか等を審査・評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	音楽社会文化研究Ⅱ	講義	実	有馬知章

科目概要

この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー、マルチメディア・プロデューサー)に基づきクラシック音楽の時代背景と絵画、宗教、政治などとの関わりを研究します。西洋音楽とヨーロッパの歴史的な事象を関連づけて研究します。黒船来航から現代に至る、国内の音楽文化と社会情勢、社会現象を研究します。

到達目標

19世紀以前の世界史、音楽史の関連性や教会・宮廷の音楽が市民の音楽となり現代のような音楽市場が形成されていく過程を理解します。日本の音楽文化と高度成長について理解します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ファンタジア 1940年	ディズニーの音楽と映画について研究します
第2回	天国と地獄 1889年	ムーランルージュでのロートレックと音楽。印象派の作品について研究します。
第3回	ショパンの肖像画 1838年	ドラクロアのショパンの肖像画 7月革命、11月蜂起について研究します。
第4回	トルコ行進曲 1783年	ヨーロッパとその周辺文化。alla turcaについて研究します。
第5回	ベルサイユのバラ 1682年	日本人の大好きな「ベルばら」、ブルボン王朝とフランス革命、ベートーベンとナポレオンとの関係、ハプスブルグ家について研究します。
第6回	ルネサンス	ルネサンスの始まりと終わりその後の時代への影響について研究します。
第7回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

クォーター末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか?内容を理解しているかどうか?欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	横浜開港と西洋音楽	黒船来航以来の西洋音楽と日本の文化 明治維新について研究します
第2回	浅草のエンターテインメント	戦前の日本の音楽文化について研究します。
第3回	日劇ウエスタンカーニバル	戦後の新しい音楽、ロカビリーからグループサウンド、フォークソングについて研究します。こうと経済成長について研究します。
第4回	スター誕生	70年代歌謡曲とロック、アイドル文化のルーツについて研究します
第5回	タケノコ族 1979年	歌謡曲からニューミュージック、テクノカットについて研究します。
第6回	渋谷系 TK	80年代新しい世代のメディアや音楽について研究します
第7回	J-Pop	TKブームの終焉から宇多田ヒカルへ、音楽志向の変化について研究します。
第8回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

学期末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか?内容を理解しているかどうか?欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春/秋	楽器・音響学研究(アコースティック)	講義	実	有馬知章

科目概要
この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー)、大学での研究(音響工学)に基づき、音の構成要素を理解し、楽器の種類によってその楽器の音がどのように構成されているかを学習します。良い楽器とは何か？良い音とは何かを判断する能力を身につけます。数学、物理学が苦手でも、音響工学を感覚的に理解することを目指します。
到達目標
音楽家として、自分で演奏し音を伝えるために必要な知識を身につけます。音の構成要素、楽器の構造、音の伝わり方を理解し、良い音を追求することを身につけます。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音について (I)	音を構成する要素を理解する。音の伝わり方。耳の構造について。
第2回	音について (II)	音の三要素と時間的变化。音程について。
第3回	音について (III)	音を見る。波形による音の表現 音について復習。音色について
第4回	音について 倍音	音色を構成する自然倍音について学習します。楽器の音色について。
第5回	楽器の構造 (I)	楽器はどうやって音を構成しているか？アナログシンセサイザーについて。
第6回	楽器の音	楽器に関する確認とオーケストラの楽器編成。カリンバ等民族系の楽器を聴きます。
第7回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

クォーター末試験評価方法  
 平常点:25% 末試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。注意事項:授業中の携帯電話、インターネット、メールの使用、他科目の課題作成等はいっさい禁止とし、守られない場合には減点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1クォータの復習	音や楽器に関する知識の確認。試験評価。
第2回	楽器の分類	ザックス・ホルンボステル分類について学習します。
第3回	音の速さ、大きさ	音が伝わる速度。特殊な効果、用語を学習します。
第4回	音の響き方	アンビエント、エコー、リバーブとは何か、学習します。
第5回	音の拡がり感	ステレオ効果とは？音の定位。オーケストラの配置について学習します。
第6回	音の方向	音はどこから聴こえるのか？音の方向性について学習します。
第7回	良い音とは	良い音を追求するには？良い音について学習します。Singin' Bowlを体験します。
第8回	理解の確認	筆記試験またはレポート提出

学期末試験評価方法  
 平常点:25% 末試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。注意事項:授業中の携帯電話、インターネット、メールの使用、他科目の課題作成等はいっさい禁止とし、守られない場合には減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春/秋	楽器・音響学研究(デジタル機器)	講義	実	有馬知章

科目概要
この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー)、大学での研究(音響工学)に基づき、電気楽器、デジタル楽器とデジタルオーディオの仕組みを習得します。アナログとの違い、何故デジタルは音が良いのか?エフェクターとは何か。デジタルオーディオ機器を使用する際の用語などを理解します。アコースティックと続けて履修することが望ましいです。
到達目標
デジタルオーディオについて、規格、仕組み、使用方法について理解します。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	デジタルの基本 I	デジタルオーディオの仕組みを理解します。アナログとデジタルの違いについて。
第2回	デジタルの基本 II	デジタルオーディオの仕組みを理解します。デジタルは何故音が良いのかについて学習します。
第3回	電気を使用した楽器 I	エレキギター、エレピ、など電気を使用した楽器について理解します。それぞれの楽器の名曲を聴きます。
第4回	電気を使用した楽器 II	オルガン、ポコーダ、メロトロンなど電気を使用した楽器について理解します。それぞれの楽器の名曲を聴きます。
第5回	デジタルシンセサイザー I	FM音源の元となるFM理論について学習します。
第6回	デジタルシンセサイザー II	サンプラー、ドラムマシーン、ループなどのデジタル機器について学習します。
第7回	理解の確認	筆記試験

クォーター末試験評価方法  
 平常点:25% 末試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。注意事項:授業中の携帯電話、インターネット、メールの使用、他科目の課題作成等はいっさい禁止とし、守られない場合には減点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	デジタル音響 I	エフェクターについて学習します。種類、仕組み、使い方等。
第2回	デジタル音響 II	エフェクターについて学習します。接続方法、効果について学習します。
第3回	デジタルオーディオ機器 I	コンピュータやデジタル機材を使うには何が必要か?2進数、16進数について理解します。GB,TBなどの単位について
第4回	デジタルオーディオ機器 II	デジタルオーディオ機器と音声フォーマット。FLAC,MP3,AACなどの音声圧縮について学習します。
第5回	ハイテクと音楽 DAW	DAWの歴史、使い方について学習します。マルチトラックについて。
第6回	ハイテクと音楽	70年代以降デジタル技術が音楽に与えた影響について考察します。
第7回	最新のテクノロジーと音楽	最新のデジタルオーディオについて学習します。テルミンについて学習します。
第8回	理解の確認	筆記試験

学期末試験評価方法  
 平常点:25% 末試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。注意事項:授業中の携帯電話、インターネット、メールの使用、他科目の課題作成等はいっさい禁止とし、守られない場合には減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春／秋	DTM演習	演習	実	奈良部匠平

科目概要

DAWソフト「CUBASE」使用し、楽曲のファイナル音源を作ること学びます。譜面の作成にも役立ちます。音楽のジャンルや可能性が広がり、自身の新たな方向性発見の機会にもなると思います。講師は渡辺美里・吉川晃司・米米CLUBなどのライブサポート、レコーディングに作・編曲科、キーボードプレイヤーとして参加。米 New Yorkにて20年間 同様の音楽活動などの実績がある。

到達目標

楽譜または感覚的に思いついた音楽をコンピューターへ打ち込むことができるようになること。歌声や生楽器を、DAWへ録音する方法を学びます。上記を経た、複数の音源のバランスをとり、ミキシングする方法を学びます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	MIDI環境セットアップ	音源、キーボード等のコネクション、ソフトウェアの起動等の確認。
第2回	CUBASEの操作(1)	CUBASEの使用法、各エディットウィンドウでの操作方法の基本。MIDIデータの読み込み。
第3回	CUBASEの操作(2)	ピアノロール画面での実際の入力手順について。
第4回	CUBASEの操作(3)	音色の設定、ボリュームの変更、クオンタイズ等、リアルタイム入力に関する操作方法。
第5回	入力の実際(1)	既存の楽曲をCUBASEに実際に入力。
第6回	入力の実際(2)	既存の楽曲をCUBASEに実際に入力。デュレーション、ベロシティの変更等の解説。
第7回	楽曲完成	最終データを提出。

クォーター末試験評価方法

出席と課題曲を50%50%で評価。課題曲は、打ち込みの努力の成果。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	その他のテクニック	コントローラなどの復習と活用法の確認。
第2回	歌や楽器の録音 1	曲のスタイルに合わせたパートのバランス、エフェクトの使用法など。
第3回	歌や楽器の録音 2	前Quarterで入力した楽曲または新曲に生の歌や楽器を録音する。
第4回	歌や楽器の録音 3	前Quarterで入力した楽曲または新曲に生の歌や楽器を録音する。
第5回	ミキシングの手順 1	打ち込まれた、または録音された各パートのバランスをとる。
第6回	ミキシングの手順 2	各パートにEQやコンプレッサーを通して音像を整える。
第7回	ミキシングの手順 3	EQ、コンプレッサーを引き続き試していく。全体を立体的にサウンド・デザインするために、リバーブなどで飾る。
第8回	MIX音源の提出	更なるエフェクトやEQ、コンプを整えて、最終MIXをし、提出する。

学期末試験評価方法

出席率、努力の成果、最終音源が心に感じるものがあるかを評価。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	譜面浄書ソフト演習基礎	演習	実	有馬知章

科目概要
この科目では、講師の実務経験(シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサー、楽譜配信、譜面浄書業務)に基づき譜面作成ソフト「Finale」の基礎をマスターします。コード、歌詞付きのメロ譜作成。各種記号の設定を学び簡単なスコア作成を目指します。1日8時間、3日間の集中講座です。
到達目標
歌詞、コード付きのメロ譜を完成させます。スコア譜の作成とレイアウトの設定、記号の設定ができるようになります。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基本操作の確認	Finaleの起動、基本操作について。ステップ入力について。
第2回	メロディの入力	メロ譜を作成します。音価の選択、特殊な音符の入力、休符の入力を学習します。
第3回	コードの入力の基本	コードを入力します。特殊なコードの入力を学習します。
第4回	記号の設定 1	音部記号、拍子記号、調号の設定。各種ツールについて学習します。
第5回	歌詞入力	歌詞を入力します。レイアウトを設定します。
第6回	ショートカット	音価の選択、カーソルの変更、音符の向き、臨時記号などのショートカットを学習します。
第7回	作品提出 プリントアウト	作成した楽譜をプリントアウトして修正します。
クォーター末試験評価方法		
平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	レイヤーの設定	ピアノ譜を使ってレイヤーの設定を学習します
第2回	レイヤーの設定・リズム譜の作成	ドラムパートを入力してレイヤーの設定を学習します。高速ステップ入力を体験します。
第3回	アンサンブル譜の作成	すでに作成したメロディ譜にベース、ドラム、ギター、ピアノを追加してアンサンブル譜を作成します。記号を入力します。
第4回	アンサンブル譜の作成	プリントアウトして確認します。
第5回	スコアの作成	段数の多いスコアを入力します。記号を設定します。
第6回	課題作成	ページレイアウトの設定を学びます。課題のスコアを入力します。
第7回	課題作成	音符、記号、ページレイアウトを確認して完成させます。
第8回	課題評価	課題を提出します
学期末試験評価方法		
平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。		

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	譜面浄書ソフト演習上級	演習	実	坂本浩志

科目概要

この科目では、講師の実務経験(アレンジャー、譜面浄書業務)に基づき、譜面浄書ソフト「Finale」を使用し、中～大編成のフルスコア、パート譜の作成の仕方を学びます。

到達目標

出版譜レベルの譜面作成(レイアウトが整っている、譜めくりが容易、演奏しやすい、等)ができるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	高速ステップ入力	「譜面浄書ソフト演習基礎」の復習を兼ね、有効な入力方法のおさらいをします。
第2回	リアルタイム入力	「譜面浄書ソフト演習基礎」の復習を兼ね、有効な入力方法のおさらいをします。
第3回	高速ステップ入力をつかった修正	「譜面浄書ソフト演習基礎」の復習を兼ね、有効な入力方法のおさらいをします。
第4回	MIDIの読み込み	任意のMIDIデータを読み込み、譜面化します。
第5回	MIDIの読み込みの修正	クオンタイズの設定、高速ステップ入力を駆使して、使える譜面に修正します。
第6回	スコアフォーマットの作成	セットアップ・ウィザードを使用し、フルスコアの設定を行います。
第7回	アカペラアンサンブルの入力	4～5声のアカペラアンサンブルを題材に、フルスコアの入力を行います。

クォーター末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	トランスクリプト①	アカペラアンサンブルの楽譜を他の編成へ移し替えます。(例:弦カルテット、SAX4重奏)
第2回	トランスクリプト②	①で作成した譜面をより大きな編成へ膨らませます。(例:ジャズビッグバンド、ウインドアンサンブル)
第3回	フルスコアの作成	指揮者が読むことを想定したフルスコアを作成します。
第4回	パート譜の書き出し	譜めくり、見やすさに注意してレイアウトします。
第5回	音源の書き出し	Finaleの音源化機能を使います。
第6回	実技試験で使用する楽譜の浄書①	実際に試験で演奏する曲または自作曲の譜面作成を行います。(フルスコア)
第7回	実技試験で使用する楽譜の浄書②	①のパート譜を作成します。
第8回	課題評価	課題を提出します

学期末試験評価方法

平常点25% 試験:75% 自主的な学習意欲と向上心、探究心を評価します。授業での指示を聞いているかどうか? 欠席5点、遅刻3点を平常点から減点します。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春 / 秋	DAWソフト&ハード演習	演習	実	上月 洋也

科目概要

プロのレコーディング現場でもっともよく使用されているDAWソフト「プロツールズ」の機能を理解し、レコーディング方法と進行を学びます。尚、講師はエンジニア(レコーディング、マスタリング、DTM、PA)としての実務経験を持ちます。

到達目標

自分で作った作品をプロツールズにパラデータで取り込みヴォーカルなどをマイクで録音・ミックス・マスタリングしてデモ音源が作れるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基礎知識	DAWとは。教室の使い方 電源の入れ方 基本オペレーション
第2回	セッションを作る	サンプリングレート、テンポ、拍子の設定 デジタルオーディオの仕組み
第3回	トラックを作る	プロツールズで使えるトラックの作成と用途
第4回	プラグインについて	エフェクターやソフト音源
第5回	Midiを操る	Midiトラックで外部音源を鳴らす。ソフト音源を鳴らす Midiのオーディオ化
第6回	エフェクター	インサートやセンドリターンでエフェクターを使う
第7回	試験	指示通りにオペレーションできるか

クォーター末試験評価方法

試験はオペレーション実技。出席60%クォーター末テスト40%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	インポート	オーディオやCDやセッションをインポートする
第2回	レコーディング①	ソフト音源でドラムを打ち込んでみる
第3回	レコーディング②	マイクを使ってオーディオの録音
第4回	ミキシング①	音作りの基礎 Pan、EQ、コンプレッサー
第5回	ミキシング②	空間系の処理 リバーブ、ディレイ
第6回	ミキシング③	ミックスのまとめ方
第7回	マスタリング	聴きやすいミックス、音圧上げ
第8回	試験	指示通りにオペレーションできるか

学期末試験評価方法

試験はオペレーション実技。出席60%クォーター末テスト40%

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春/秋	RECエンジニア演習	演習	実	隼田義博

科目概要

各人がエンジニア、演奏者、作家など(自身の専攻分野)の立ち場になって、スタジオレコーディングの実習をおこないます。尚、講師は 트레이ラー 専門音楽出版社の作曲家としてトレーラー、TV番組のBGMやプロモ用音楽制作の実務経験を持ちます。

到達目標

機材やレコーディングプロセスにおける教養的な知識と、エンジニアとしての初歩的なスキル習得を目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	レコーディングとは	音の概念を考えながらスタジオ内の音の流れ(シグナルフロー)とレコーディングプロセスを理解。
第2回	使用機材にふれる 1	使用するケーブルやマイクスタンドの取り扱い、マイク、DIについての種類と特徴について。
第3回	使用機材にふれる 2	コンソール、パッチベイ、アウトボードの機材、プロツールズについて。
第4回	使用機材にふれる 3	トークバック、キューボックスについて。
第5回	レコーディング予行演習1	レコーディングセッションのシミュレーション。(ソロピアノ)
第6回	レコーディング予行演習2	レコーディングセッションのシミュレーション。(他のソロ楽器)
第7回	機材についてのまとめ	レコーディングセッションのプロセスの理解、機材の扱いについての確認とレポート提出。

クォーター末試験評価方法

- ・出席状況(35%)遅刻・欠席は減点対象。
- ・平常点(35%)受講態度や積極性。
- ・試験(30%)レポート提出。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	レコーディング予行演習3	レコーディングセッションのシミュレーション。(ギター、ベース、キーボードなどのエレキ楽器)
第2回	レコーディング予行演習4	レコーディングセッションのシミュレーション。(生楽器のアンサンブル)
第3回	レコーディング演習1(グループ1)	グループ1の企画によるレコーディングセッション、担当グループ以外はエンジニアとして参加。
第4回	レコーディング演習2(グループ2)	グループ2の企画によるレコーディングセッション、担当グループ以外はエンジニアとして参加。
第5回	レコーディング演習3(グループ3)	グループ3の企画によるレコーディングセッション、担当グループ以外はエンジニアとして参加。
第6回	レコーディング演習4(グループ4)	グループ4の企画によるレコーディングセッション、担当グループ以外はエンジニアとして参加。
第7回	レコーディング演習5(グループ5)	グループ5の企画によるレコーディングセッション、担当グループ以外はエンジニアとして参加。
第8回	レコーディングについてまとめ	スタジオでのレコーディング実技試験、これまでのセッションを振り返りディスカッション。

学期末試験評価方法

- ・出席状況(35%)遅刻・欠席は減点対象。
- ・平常点(35%)受講態度や積極性。
- ・試験(30%)学習内容の理解をチェックする実技試験。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
集中	PA&イベント舞台製作演習	演習	実	朴 寿焄

科目概要

この科目は集中授業です。コンサート・イベント・各種舞台などの様々のフィールドでの音響の仕事を行うために、知識と技術はもちろん、現場でのコミュニケーションを取るための訓練も行います。併せて、危険が多い舞台の仕事の中で、安全に作業を行う訓練も行います。尚、講師はコンサート・イベント等での音響技術の実務経験を持ちます。

到達目標

コンサート・イベント・各種舞台等で使用される音響機器・システムを理解する

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PAとは	マイク、音響機器を使って演奏することの概念を理解する。
第2回	機器による音の違い	使われる機器によって、聴衆に伝わる音の違いがあることを理解する。
第3回	ヘッドフォンによる音の違い	ヘッドフォンでも音質が変わることを理解する。
第4回	マイク、ケーブル等の取扱い	取扱い方法のレクチャー、ケーブルの巻き方の実践を行う。
第5回	信号の流れる仕組み	実際に音響機器を使用しながら、マイク、ケーブル、ミキサー、モニターとどのように信号が流れるか確認する。
第6回	外音・中音	現場でよく使われる「外音」「中音」の意味、使い方を理解する。
第7回	スタッフへの指示の出し方	演奏環境を整えるためにどのようなコミュニケーションをとれば良いかを理解する。

クォーター末試験評価方法

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ホールでの安全作業	ホール・舞台の機構を理解し安全に作業を行う基本となる知識の習得
第2回	スピーカーセッティング	ホール内設備を使い安全なスピーカー設置を行う
第3回	機材セッティング	マイクスタンド・ケーブルの取り扱いを理解し、早く・正確に行う
第4回	システムセッティング	小規模システムをセッティング サウンドチェック
第5回	ライブシュミレーション①	ライブのセッティングをシュミレーション プランニングから仕込みサウンドチェックまで行う
第6回	ライブシュミレーション②	搬入・仕込み・回線チェック・サウンドチェック・リハーサルまでの流れを実践
第7回	ミキシング	ライブでのミキシングを体験する。バランスを変えるとどのような聞こえ方になるかを理解する。
第8回	まとめ	実際の演奏現場に活かせることを確認する。

学期末試験評価方法

実技試験 指定されたシステムを時間内にグループでセッティング  
事前の準備とチームとしてのコミュニケーションも評価

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	VJ演習	演習	実	奈良部匠平

科目概要

アーティストとして自己の楽曲を、より多くの人々に届けるため、Adobe DTPソフトを活用し、CDデザイン、ミュージック・ビデオ制作、フライヤー制作、Webデザイン、CMやプロモーション・ビデオの動画制作を目的とします。講師は渡辺美里・吉川晃司・米米CLUBなどのライブサポート、レコーディングに作・編曲科、キーボードプレイヤーとして参加。米 New Yorkにて20年間 同様の音楽活動などの実績がある。

到達目標

Adobe DTPソフトを繰り返し活用し、ヴィジュアルアート制作をすることで、ソフトの機能を知り、ヴィジュアル効果を体験し、楽しみながらスキルを身につけることが目標です。またVideoに対する音楽の多大な重要性も理解できると思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Visualアートについて	PV鑑賞やデザインの例を観て、音楽やVisualアートについてのディスカッションします。
第2回	明かり・光について	光の性質の違いによるテクスチャーを体験。静止画を室内光・太陽光・スタジオライトで撮影する。
第3回	Photoshopの基本操作	CDジャケットを念頭に撮影した静止画をAdobe Photoshopに入れて明るさや色の調整を体験する。
第4回	CDジャケット制作1	写真素材を集めPhotoshopでCDジャケットサイズに加工・合成。
第5回	CDジャケット制作2	Photoshopのマジックワンドの切り抜きなど、ツールを使った編集作業をする。
第6回	CDジャケット制作3	Adobe Illustratorを使い、CD工場のテンプレートに写真素材や文字入れをする。
第7回	CDジャケット完成・提出	CDジャケット制作を完成し提出する。作品についてのコメント/ディスカッション。

クォーター末試験評価方法

Photoshop、Illustratorの理解度。作品のオリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PV制作について	様々なプロモーションビデオを観てディスカッションをします。クロマキー撮影や編集例も観ます。
第2回	PV 絵コンテを撮影	PVの企画書と使用するオリジナル曲を提出します。絵コンテを完成します。
第3回	PVの実写	絵コンテに沿って、映像素材の撮影を行います。クロマキー撮影も可能。
第4回	PVの編集1	残りの撮影と必要に応じてエフェクトなどを用いて編集を始めます。
第5回	PVの編集2	編集の続きを行い提出します。
第6回	PVの編集3	編集の続きを行い提出します。
第7回	画像編集の復習	CDジャケットの復習を兼ねた制作をしそれを完成し提出します。
第8回	作品発表	制作物の発表と、その作品についてのコメント/ディスカッション。

学期末試験評価方法

PV作品の完成度、オリジナリティ。平常時の授業態度と出席状況。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
春	コミュニケーション演習 I	講義	実	坂本浩志

科目概要

社会生活、就職、プライベートにおいても大切な「コミュニケーション能力」この科目では今までの自分自身のコミュニケーションのパターンを知り、身近なコミュニケーションをはじめ、就職、社会生活におけるコミュニケーションスキルの習得します。また、全般に渡り「積極的コミュニケーション」を学びます。

到達目標

基本的なコミュニケーションを繰り返し行い、等身大でスキルを使えるようになる事に取り組みます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション・自己紹介	学期全体での内容把握オリエンテーションです
第2回	コミュニケーションの流れ	コミュニケーションの流れの把握 ・ 話す演習
第3回	話す①	書き出す まとめる ・ 話す演習
第4回	価値観	好きな本、映画、人などから、自分が大切にしていきたい価値観を明らかにします
第5回	人物	相手と自分の間にある「距離」を確認します(礼儀)
第6回	人物	TPOと自分らしさを再認識します(礼儀)
第7回	確認テスト	コミュニケーションの概論の理解、自分自身を踏まえ自己PR文を作成します

クォーター末試験評価方法

社会における礼儀正しさの理解度、自己特徴を文章で表現が出来ているかを評価します 出席・筆記試験を元に判断するが、コミュニケーションやマナーの講義の為、授業態度を重視する。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コミュニケーションマナー①	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー①
第2回	コミュニケーションマナー②	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー②
第3回	コミュニケーションマナー③	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー③
第4回	コミュニケーションマナー④	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー④
第5回	コミュニケーションマナー⑤	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー⑤
第6回	コミュニケーションマナー⑥	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー⑥
第7回	コミュニケーションマナー⑦	日本人の基本的礼儀作法の歴史と現在のマナー⑦
第8回	確認テスト	授業の理解(マナー)・手紙の書き方

学期末試験評価方法

コミュニケーションにおいて『相手』と『自分』と『出来事』に対しての理解と気付きを評価します 出席・筆記試験を元に判断するが、コミュニケーションやマナーの講義の為、授業態度を重視する。

音楽総合アカデミー学科

学期	科目名	科目区分		担当講師
秋	コミュニケーション演習Ⅱ	講義	実	坂本浩志

科目概要

社会生活、就職、プライベートにおいても大切な「コミュニケーション能力」この科目では今までの自分自身のコミュニケーションのパターンのを知り、身近なコミュニケーションをはじめ、就職、社会生活におけるコミュニケーションスキルの習得します。また、全般に渡り「積極的コミュニケーション」を学びます。

到達目標

「自分」の在り方による、コミュニケーションのパターンに気づき、それらを踏まえながら、スキルを演習し身につけます。また、将来像を具体的に表せるような問に挑戦します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	具体的。効果的なコミュニケーションの方法について1学期で学んでいく事の概要を伝えます
第2回	聴く(1)	自分達が普段どのような聴き方をしているかを明らかにします。
第3回	聴く(2)	より深く「聴く」という事を学びます
第4回	応答	応答の方法を学びます
第5回	質問	質問の種類。効果的な質問について学びます
第6回	ケーススタディ	「聴く」「応答する」「質問する」の演習です
第7回	確認テスト	授業の理解

クォーター末試験評価方法

『場の作り方』『聴き方』等具体的手法の理解、マナーの実践等 評価します 出席・筆記試験を元に判断するが、コミュニケーションやマナーの講義の為、授業態度を重視する。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コミュニケーション失敗の時の対応①	コミュニケーションがうまくいかなかった時の対処法①
第2回	コミュニケーション失敗の時の対応②	コミュニケーションがうまくいかなかった時の対処法②
第3回	視点や立場	言われた事や、起こってしまった事を様々な視点から捉えることを学びます
第4回	将来像を描く・行動計画	価値観、能力を意識しながら、自分の将来像を描きます。描いた将来像を実現する為の行動計画を作成します
第5回	行動計画を作る	描いた将来像を実現する為の行動計画を作成します
第6回	コミュニケーションまとめ②	全体通して学んだ事のまとめ
第7回	コミュニケーションまとめ③	全体通して学んだ事のまとめ
第8回	確認テスト	授業の確認・自分のスタンスの確認

学期末試験評価方法

今まで学んできた『コミュニケーション』を通して、自分を伝える事や将来像の表現(自己PR文)を評価します。 出席・筆記試験を元に判断するが、コミュニケーションやマナーの講義の為、授業態度を重視する。